

SCOUTING

No.568 スカウティング 2000

9



5NV速報 熱い! ベンチャーの夏2000
未来の扉は開いたか!?



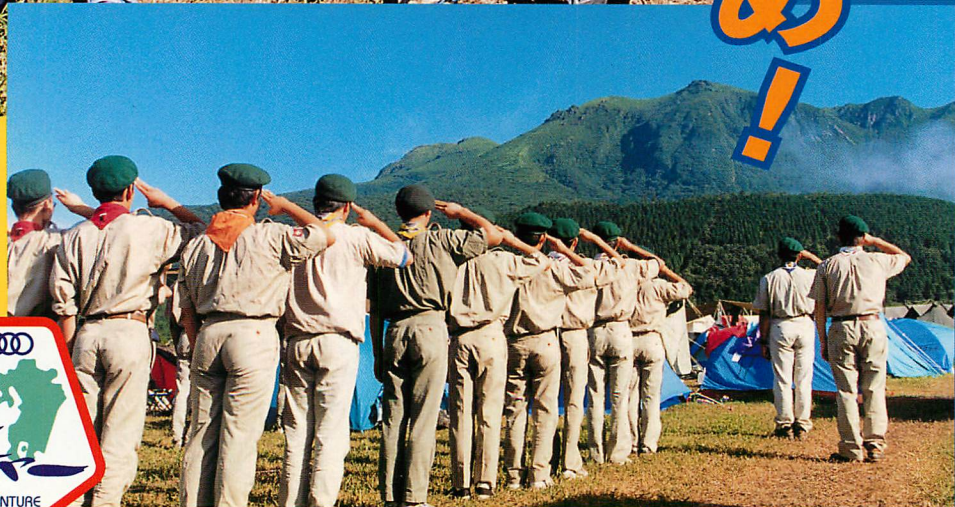
財団法人
ボーイスカウト日本連盟

NIPPON VENTURE

大分・久住高原
7.29~8.4

今世紀最後の“熱い”夏を体験!!
第5回ベンチヤースカウト大会

思い出を胸に刻め!





世界のスカウト：香港

スカウティング No.568

特集 5NV速報 熱い! ベンチャーの夏2000 未来の扉は開いたか!?

反省	5NV活動基地一ご迷惑おかけしました アポなし取材	14
報告	子ども国会開催	15
行事	第43回JOTA/第5回JOTI	16
投稿	JOTAに参加しよう!	18
行事	いよいよ今月です 9月15日 スカウトの日	19
国際	今年は平和の文化国際年 プログラム情報⑥	20
国際	平成12年度夏季国際関係行事	22
募集	BS活動に関わるみんなで作る月刊誌	23
投稿	BS★泣き笑い劇場	24
A I S	アダルトリソース方針の目指すものは何か	26
活動	VENTURE PRESS	28
活動	ローバー通信 誌上ローバームート	30
信仰	隊長への手紙 信仰心を育むために	32
紹介	SCOUTING BACK-NUMBER	33
情報	NEWS BSN -日本連盟からのおしらせ	34
募集	新春誌上名刺交換のご案内	36
募集	第28回全国ボーイスカウト写真コンテスト 作品募集	37
連載	団の広報 編集人伝説	38
紹介	ボーイスカウト運動のために ~維持会員加入のご案内~	40
歴史	BS歴史探訪 -20世紀のあしあと-	41
P R	NIPPON VENTURE 2000 思い出を胸に刻め!	2
需品	需品部ニュース	43

風の音

5NV出会い! 再会

鹿児島・川内第1団ボーイ隊長 林 洋市

主会場の大分県直入郡久住町は、たくさんの方の大会が開催され、私自身思い出のある地です。私が初めて訪れたのは、第4回九州キャンボリーにシニアースカウトとして参加したときでした。その後、第5回九州キャンボリー派遣隊副長、第11回日本ジャンボリー配給部員、第6回九州キャンボリー給食班長、今大会5NVも給食班長として5度目の久住町での奉仕となりました。7月27日の夕食から、事前準備のために先発しているスタッフの皆さんへの給食作りが始まりました。期間中多い日は約600名分の給食を準備をし、配給部の皆さんには、朝早くから終日、鍋を洗ったり野菜の下処理、各野営区へ配給業務遂行等、一生懸命奉仕していただきました。

この配給部は、スカウト関係者の方と1H3度出会う場所で、調理場から挨拶を交わすと、「お久しぶり・またよろしく・元気でしたか」と声がかかります。過去の大会や訓練機関等で出会った方々と再会をする、ちょっと素敵ないこいの場でもありました。何よりすばらしい再会は、12NJ秋田でアメリカ派遣団の方に食事を作りましたが、遠く離れた外国に住む方に2年振りに対面することができ、思い出話に花が咲きました。

またいつか多くの方とお会いできる日を楽しみに、20世紀最後の夏を閉じました。



目標：全員購読!
「スカウト」「スカウティング」購読拡大キャンペーン

熱い! ベンチャーの夏2000



未来の扉は開いたか!?

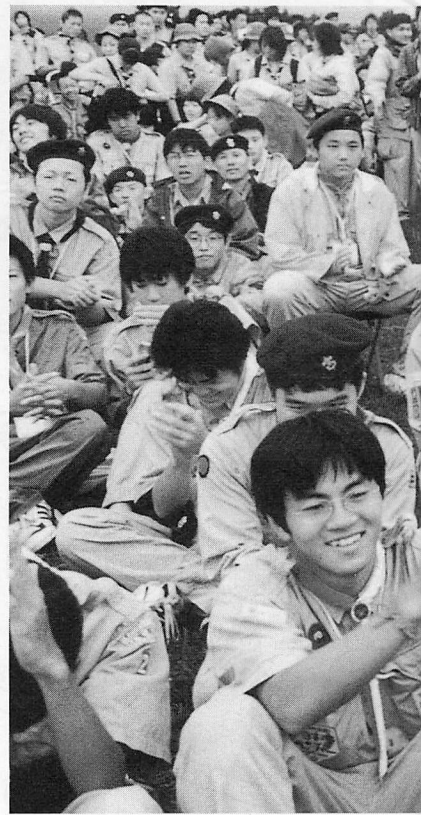
大分県・久住高原を主会場として、九州全県と沖縄県に28か所の活動基地を置くという大規模な大会として5NVは開催されました。今世紀最後のキャンプ大会として、“有終の美を飾る”という考えも一部にはありましたが、むしろ、シニアからベンチャーへと移行して初めての大会であり、未来へスカウト運動が進む方向を指し示す“道標”であるという見方が一般的かもしれません。大会に参加した者、運営にあたった者、見守っていた者…それぞれが「5NVから何を学んだか?」そして「この運動の未来の扉は開いたのか?」。今月は、写真を中心に速報の形でお届けします。

野外で開催するイベントの天敵といえ、雨。大会の成功を願う関係者は皆晴天を期待します。雲行きがあやしくても、「せめて本番だけは降らないで」というのが切実な願いでしょう。祈るような気持ちで空を見上げた経験は、誰もが持っています。

5NVは雨。まるで大会関係者に試練を与えるかのごとく停滞し、ゆっくりとした不気味な動きで九州地方を飲み込んだ台風六号とその雨雲のおかげで、前半は予定どおりに実施できないプログラムが出るほどの影響を受けてしまいました。

ボーイスカウトのキャンプ大会の記録を見直してみると、何度も雨に泣かされています。記憶に新しい二年前の秋田県・森吉の日本ジャンボリーも連日雨・雨・雨…。台風が直撃した大会もあります。

お天気については、恨み言をいってもはじまりませんが、その日のた



ったことでしょう。今回の速報では、詳細については時間の関係で記事として書けません。来月号以降、荒天時における緊急の対応の参考となるよい実例として、取材記事を掲載したいと考えています。大会報告となるとどうしても華やかなシーンにばかり注目が集まってしまうのですが、こういった裏方の苦勞を地道に取材し、伝えていく責任も、広報にはあると考えています。

DO VENTURE!

気持ち切り替えて

自然を活動のフィールドにするボーイスカウトにとっては、雨に降られることも、台風の直撃を受けることも、大切な体験のひとつ。予定どおりにはいかなくても、いつまでも嘆いてばかりいないで、すぐに気持ちを切り替え、次の行動に!

雨が降ったといっても、毎日ドシヤ降りてテントから出られなかったというわけではありません。各活動基地によって違いはあるでしょうが、主会場では降ったりやんだりのハッキリしない空模様。後半は比較的天

候に恵まれたので、ベンチャーたちも自分自身で上手な時間の使い方を考え、苦勞や困難に出会いながらも充実した八日間を過ごしたことでしよう。天気の影響等、人の力ではどうしようもできないことが起きたときの状況の分析、判断、対応が適切であったかという検証は絶対必要だと考えますが、「雨? 台風? そうい

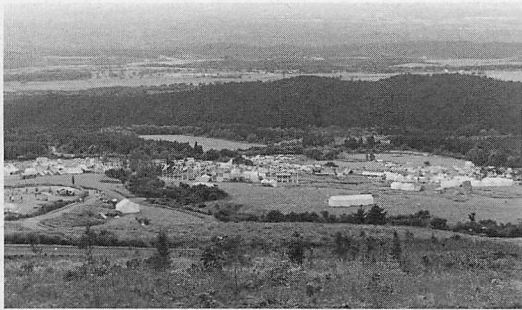
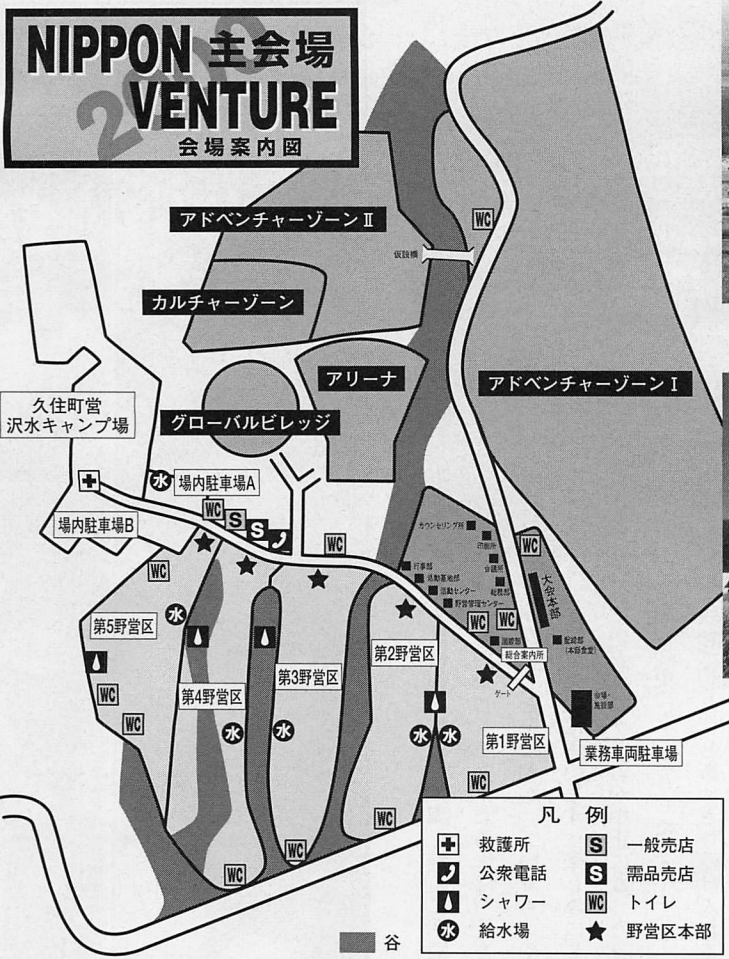
問題も全部含めて楽しんじゃうのが、ボーイスカウトのいいところなんだよ」と話された指導者もいました。そんなおおらかさというか、懐の深さのようなものも、自然を相手にする以上は大切なものかもしれません。今世紀最後の大会で、改めて自然の厳しさを学んだベンチャーたち。彼らが自然から与えられた課題を正面から受け止め、若いエネルギーで乗り越えていつてくれたのなら、きっと未来の扉は開かれたに違いありません。

真つ黒に日焼けしたベンチャーたちが、大会に参加した成果を、原隊でどれだけ見せてくれるかが楽しみです。ベンチャープロジェクトへのチャレンジは、いろいろな意味で始まったばかりなのです。

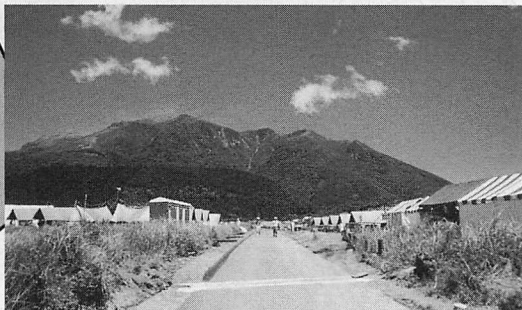
めに情報を集め、体調を整えて準備していたベンチャーたちには、仕方がないこととはわかっていても、やはり気の毒に思います。楽しみにしていたプログラムが中止になったり内容変更になったりした場合、「ハイ、残念でした」とあっさり受け入れるのは困難だったことでしょう。

もちろん関係スタッフも手をこまねいて見ていたわけではありません。天気凶(今回は台風が超スローな動きだったため、あまり変わらない)とにらめっこし、各地の情報をとりながら、安全第一の方策が採られました。

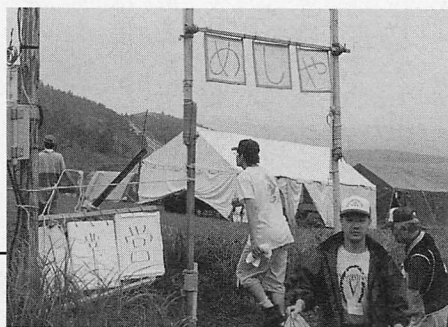
特に台風の進路にあたり、スケジュールに大きな影響が出た沖縄、屋久島等、南部に位置する活動基地での対応の大変さは、かなりのものだ



展望台から眺める5NV主会場の全景

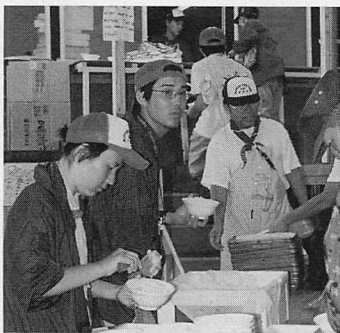


本部機能を集中させたエリア



本部食堂 大評判!

5NVの運営は、裏方さんの地味な奉仕に支えられていました。配給部が担当した本部食堂もそのひとつ。すべての関係スタッフの胃袋を満たすという大変な任務。味の方は…ハッキリいってものすごくおいしい。お世辞はぬきで、とても評判のよい本部食堂でした。



機能的な会場構成



主会場となった久住高原は、ご存じ第一回日本ジャンボリーの会場です。三万数千人が参加した六年前の大会の際プログラム会場の一部として使われた沢水キャンプ場に、5NVの活動、運営の機能がコンパクトにまとめられています。ジャンボリーの規模が異常に大きすぎる（例えば、キャンプサイトから選択プログラムの実施場所まで歩いて一時間近くかかる等）といった声も聞かれますが、それと比較して、とても行動しやすい広さの中に、適切な施設設備が配置されている感じです。どこに行くにも一〇〜一五分歩けばよいので、移動も苦になりません。

各キャンプサイトに設置されたシャワー他、要所に置かれた仮設式の

スカウトの信仰をすすめる一環として、毎日定められた「モットー」がキャンパスサイトの掲示板に張り出されました。

7月29日

きょうのモットー

TODAY'S MOTTO

和

BE IN HARMONY

仲よく

とけこもう

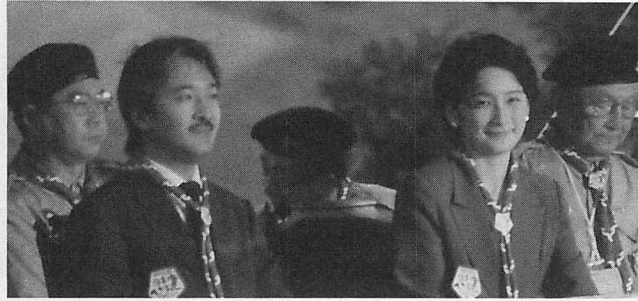
Make friends with everyone.



笑顔のメッセージ

7月29日
開 会 式

秋篠宮殿下 同妃殿下



秋篠宮殿下のお言葉

第五回ベンチャースカウト大会の開会式に、内外から参加されたスカウトの皆さんとともに出席できまして、大変うれしく思います。

ベンチャースカウトの前身であるシニアスカウトの第一回大会が、昭和五九年に宮城県南蔵王で開催され、私も開会式に出席するとともに、ごくわずかではありますが、活動の一部に加わせていただきました。そして先ほど、本日の会場を見し、そのときの雰囲気を感じておりました。

さて、このたびの大会は、第一回日本ジャンボリーが開催されたこの久住高原を主会場に、九州全県と沖縄県に二八の活動基地を設け「未知への挑戦」をテーマに、多様な活

動が行われるとうかがっております。

参加された皆さんにとって、これから自然の中での生活を通じて、その大切さを実感することは大変意義のあることと思います。また、九日間の生活をとおして「ちかい」と「おきて」の実践を励行し、全国の、そして海外のスカウト仲間との交流を深められることを希望いたします。

そして、日頃の活動の成果を存分に披露され、新しい体験や視野を広げるプログラムにチャレンジし、その体験をご自身の将来に役立てていただくことを期待しております。

終わりに、今大会が、二一世紀に向けたスカウト一人ひとりの成果と、ベンチャー活動の躍進の契機になることを願い、私のあいさつといたします。

七月二十九日、秋篠宮殿下と同妃殿下のお二人が、5 NV 会場のご視察にいらつしやいました。当日は朝から小雨が降っており、両殿下のお迎えに支障が出ないよう、万全の準備でお待ちしました。

ご予約の午後三時三十分、ご到着にあわせるかのようによろこばやみ、無事お迎えすることができました。両殿下は第二野宮区の中まで入っていかれ、スカウトたちのキャンパスサイトについての説明に熱心に耳を傾けておられました。第二野宮区には、両殿下を一目見ようと、たくさんスカウトが集まってきましたが、大きな混乱もなく、スカウトからの呼びかけに手を振って笑顔でお応えいただくなど、両殿下の飾らない気さくなお人柄に直接ふれることができ、スカウトたちは大喜びでした。展望台ではあいく霧がかかってしまい、本来の美しい景色をご覧いただくことができず残念でしたが、終始にこやかにお二人の姿が印象的でした。

両殿下は一旦宿舎にお入りになり、代表スカウトとご懇談、夕食会の後、5 NV の開会式にもご臨席賜り、秋篠宮殿下からは、スカウトたちへ激励のお言葉をいただきました。ポイスカウト運動のすばらしさをご理解いただき、参加スカウトもとても感激してました。

7月30日

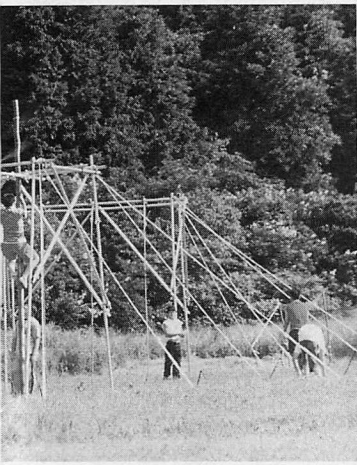
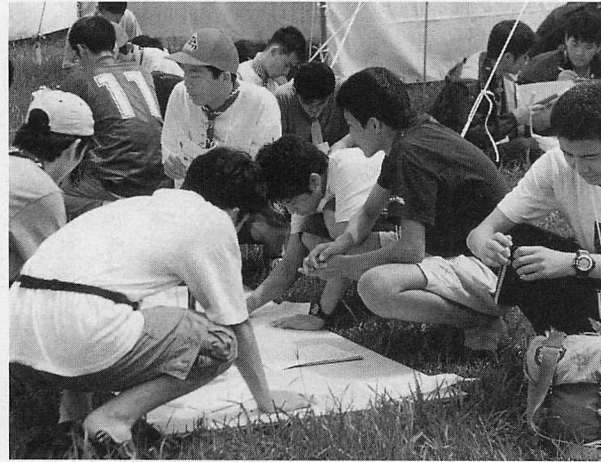
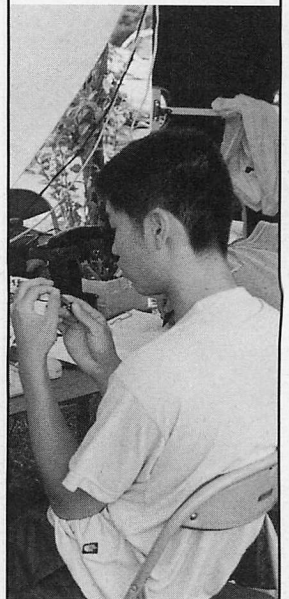
きょうのモットー
TODAY'S MOTTO

学

STUDY

身につけよう

Learn to get
keep knowledge
and wisdom.



トイレ。設置数が多いか少ないかという議論は別として、会場内でトイレを探して何分も歩かなくてはならないとか、設置数が少なくて行列ができてしまうという場面を見ることはありませんでした。

会場図を見ていただければわかりますが、本部機能を集中させ、キャンプサイトはすべてきれいに並んでいます（離れ小島のサイトはありません）。アリーナ、プログラム実施エリアの位置関係も、容易に頭の中にインプットできます。売店関係はほぼ中央に位置し、その脇の通路から、アリーナやグローバルビレッジへ向かうので、会場の「へそ」になっていました。沢水キャンプ場の造りそのものが非常に優れているということもありますが、生活するスカウトたちのことがよく考えられた設計になっていたといえるでしょう。

プログラム

主会場では数多くのプログラムが実施されました。各ジャンル、バラエティ豊かに用意された種目は、配置のバランスもよく、ほとんど大きな混乱もなく実施されました。

雨の影響等で一部の種目を中止した日もあり、他への振り分け作業に苦労したり、特定の種目に人気が集中して行列ができましたが、プログラム全体を見回すと、概ねスムーズな運営ができたようです。

参加したスカウトたちは自由に種目を選択し、挑戦していました。各々ベンチャープロジェクトの企画書を持って大会に参加し、これに基づいて行動していました。

スカウトたちの体験したプログラムの詳細やその他運営の裏側等は次回で紹介していきます。

7月31日

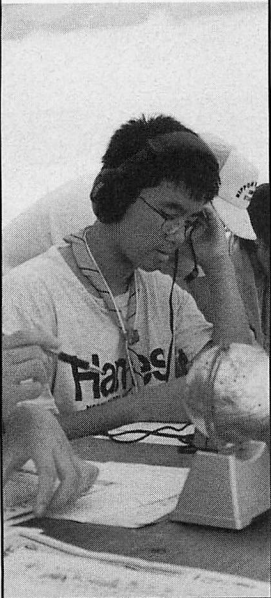
きょうのモットー
TODAY'S MOTTO



さらに

深めよう

Study and
train
yourself more.

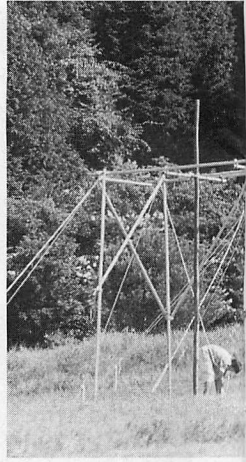


指導者の言葉遣い

大会をとおして少し気になったことがありました。それは、スカウトたちを指導する側の言葉遣いです。すべてではないと思うのですが、制服を着た指導者が、スカウトに対して敬語を使っていたのです。「今から皆様に資料をお配りしますので、ご覧になってください」「お名前をお呼びしますので、すみませんが手を挙げてお返事くださいますでしょうか」等々。汚い言葉や乱暴な話し方はよくありませんが、へりくだったようにも聞こえるこうした言い方には、少々違和感を感じました。

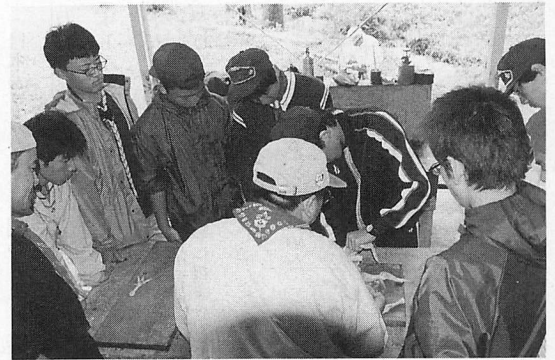
ベンチャースカウトを大人扱っているということか、あるいは大会に参加していただいているお客様という扱いなののでしょうか？ ときとしてスカウトに対して威圧的な言葉を使ってしまうこともある大人同士の共通の心がけとして、「丁寧な言葉を使おう」と注意しあったことはひとつの進歩だと感じますが、もう一歩進めて、「スカウトの指導にふさわしいスマートな言葉遣い」といったあたりについて考えていきたいと思います。

難しい年代のスカウトとの接し方を、どのようにされているのか、大会や行事のときにも日常の活動においてでも結構ですので、指導者、関係者のご意見や体験談をいただきたいと思います。



記録ビデオ編集中

大会の記録ビデオを作成することで、ビデオカメラ4台分のクルーが、主会場と活動基地を行ったり来たりしました。ひと昔前のビデオとは違い機材の性能も上がり、プロ仕様のものでコンパクトになったとはいえ、炎天下、あるいは雨の中、かついで歩くのは大変でした。「行事の大事な場面は撮りもらさないように！」「できるだけ多くのスカウトの顔が入るように！」…結構な本数撮りましたよ。これを30分にまとめるのは、もったいない気もします。とても良い映像がたっぷり撮れています。参加したスカウトもそうですが、留守番をしていた家族が見たいだろうなあ…と秘かに思ったりもしています。この機関誌が出る頃は、編集作業中でしょう。



8月1日

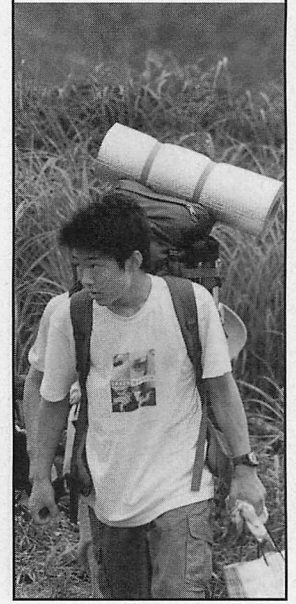
きょうのモットー
TODAY'S MOTTO



REFLECT

ふりかえって みよう

Take sometime
to reflect
upon yourself.



全体行事

全体行事を一言で説明すれば、「シンプル」。過剰な装飾や演出は排し、時間も短めにまとめられていました。参加者を退屈させないという考え方が貫かれていたようでした。

これまでのボーイスカウトの式典関係の印象といえば、ゴテゴテというか、これでもか！と内容が詰め込まれていたように思います。それに比べれば、実にあっさりとしていました。運営、進行に関しては、舞台裏ではいろいろとあったとは思いますが、「さすがボーイスカウト」といわれるような、実に気持ちのよい仕切りだったように思われます。

司会進行役をはじめ、スカウトが自ら作り上げていくステージも大変好感が持てました。式典の演出には人によって好みもあります。また、その

ベンチャーフェスティバル

八月一日のベンチャーフェスティバルは、最も大きな雨の被害にあったもののひとつです。開始前から小雨が降り続き、ステージ上にテントを張って進行了しました。

スカウトの手作り感、開会式以上に発揮されていきました。

日本のスカウト、外国のスカウト交互に演技を披露し、とてもフレンドリーな雰囲気でした。ガールスカウトがステージに立ったときの盛り上がりは、異常だったかもしれせん。

グローバルレッジで学んだこと、話し合ったことをまとめた「ベンチャー平和宣言」の中間発表も、代表スカウトによって行われました。

ゲストのベンチャーキッズ（5N Vのためだけに結成されたプロのコラスグループ）が登場した頃には、

開会式

秋篠宮殿下 同妃殿下がお見えになり、それに伴い多数の報道関係者が集まったことで、広報班の対応は大変でした。事故もなく、担当したスタッフもホッと胸をなで下ろしたことでしよう。皇室関係の取材・報道には特別なルールがあり、広報班の苦労も大きかったと思います。

式の進行は実にスムーズ。残念な点の一つ挙げれば、参加スカウトがベンチャースカウトの歌「D. Venture! 心開いて」を憶えていなかったことくらいでしょうか。せめて、大会が始まるまでに練習してきてもらいたかったものです。



8月2日

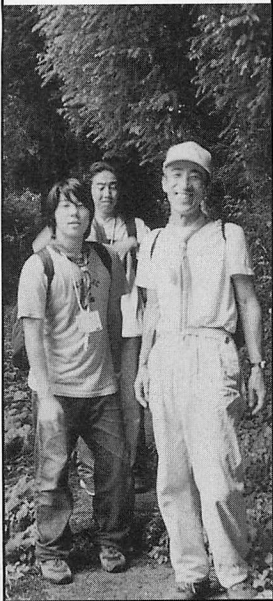
きょうのモットー
TODAY'S MOTTO



もつと

きたえよう

Train your mind
and body
harder.



激励の言葉

ボーイスカウト日本連盟理事長 佐波正一

全国各地から、また世界各国から、第五回ベンチャースカウト大会に参加されたスカウト・指導者の皆さん。待ちに待った日本ベンチャー2000が、今から開催されます。九州・沖縄の二八か所に設けた活動基地でも、今日から、この大会が開始されるようとしています。

この久住高原の主会場では、あいにくの天候の中、この開会式のために秋篠宮殿下、同妃殿下をはじめ、多くのご来賓のご臨席をいただきましたことは、私共にとりまして誠に光栄であり厚く感謝申し上げます。

また本年は二〇〇〇年という節目の年に開催される大変意義のある大会です。加えて国連の教育科学文化機関のユネスコが提唱し決議された「平和の文化国際年」推進の年です。世界スカウト機構の会議でも、各国のスカウトが協力してユネスコの運動を推進しようと決議しています。二〇世紀が終わり、新しい世紀を迎えようとしている今日なお、世界には民族・宗教間の紛争が絶えません。こうした紛争で最も苦しんでいるのは、皆さんと同じ世代、またはもっと年下の子どもたちです。

この大会のテーマは、「未知への挑戦」です。皆さん一人ひとりの活躍を祈っています。七日間、元気で頑張らしましょう。

閉会式

雨もドシャ降り。ずぶぬれのライブコンサートもそれなりに感動的でしたが、スカウトたちが風邪をひかないかと、健康管理の面を心配する指導者の声も聞かれました。



スカウトの暴走

ベンチャーナイトにベンチャーフェスティバル。いわゆるステージものに対するスカウトたちの熱狂ぶりにはすさまじいものがありました。お

8月3日

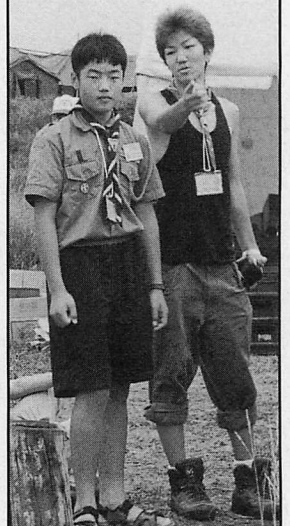
きょうのモットー
TODAY'S MOTTO

謝

THANK

感謝のこころ

Have always
a thankful
mind.



気に入りのロックバンドが登場すると、身体をゆすり、飛び跳ね、大騒ぎをするスカウトたち。最前列に陣取った彼らなりの音楽の楽しみ方であり、エネルギーの発散法なのでしょうが、「これ以上は危険!!」のラインギリギリだったようにも見えました。

客席とステージの間は十数メートルあり、客席の前にはロープが張られていました。もちろん、「ここより前には出るな」という約束事があったのですが、暴れるスカウトたちはおかまいなし。そこで場内整理を担当する奉仕の人たちが壁を作ることになりました。かくして演奏が始まるやいなや、押しくらまんじゅうのバトルが展開されたのです。

ノリのよいライブの楽しみ方と、ただ暴れるための理由がほしい輩の暴走行為は一緒にはできないでしょう。彼らの暴れっぷりは、欧州サッ



カーの“ブリーガン”や、ねぶた祭り
を妨害する“カラス”を思い出させた
といえば言い過ぎでしょうか。

若さやエネルギーを否定するつもりは
ありませんが、5NVのアーリー
ナが、それを発散させる場としてふ
さわしいかどうかは疑問です。この
件についての皆さんのご意見をお待
ちしたいと思えます。

スカウトの思い出

この場を借りて宣伝をさせていただきますが、5NVの記念アルバムには期待していただきたいと思います。専任のスタッフが撮影したスカウトたちの活躍のベストショットを収めました。開会式、ベンチャーフェスティバルをはじめ、各種プログラム、キャンプサイトでの生活の様子等、盛りだくさんの構成となっています。

現在印刷中ですが、出来映えとしては過去最高のものにしたと
考えております。ぜひ思い出の一
冊をお求めください。

お問い合わせは日本連盟需品部
までお願いします。

NIPPON
VENTURE
MEMORIAL ALBUM

第5回ベンチャー・スカウト・フェスティバル



見本

日本連盟

8月4日

きょうのモットー
TODAY'S MOTTO

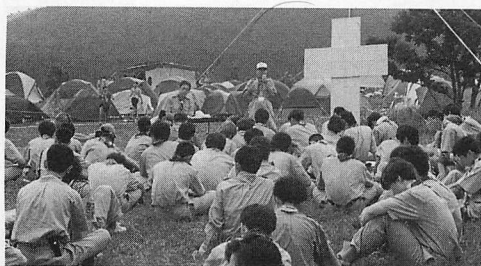
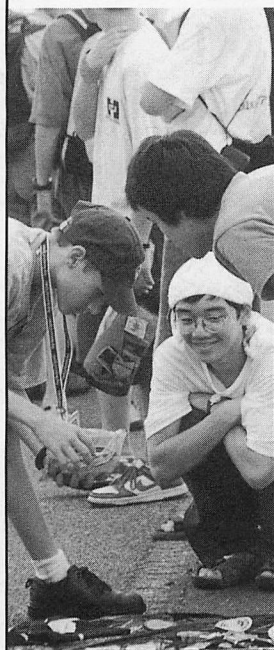
翔

FLY UP!

新しい

たびだち

Let's make
a new start.



8月1日・宗教儀礼

スカウトの信仰

地味ではありませんでしたが、信仰に対する取り組みは真摯であり、「感謝の気持ち」を大切に行っている大会であることが伝わってきました。

『きょうのモットー』が設定されたことも、目に見えない効果があったように思われます。漢字一文字に短い一文(それぞれに英訳を添えて)が

記されただけのものですが、キャンプ

サイトの掲示板に張り出されただけで

気持ちが引き締まるようで不思議

でした。キャンプ生活をだらけさせ

ないためにも、毎日モットーを定めて

仲間が互いに確認しあうことは、と

てもよいことのように思われました。

八月一日の宗教儀礼も、いろいろ

なハプニングはあったようですが、

無事に実施されました。

これまで「信仰」というと、扱いつ

らいテーマであるように考えられ、議

論することすら避けて通ってきたよ

うな感もあるのではないのでしょうか。

5 NVでは、しっかりと位置づけられ、

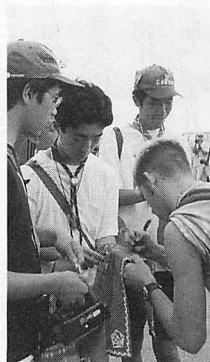
実施されていたと思われま

スカウトの友情

5 NVには、外国からのスカウトも

たくさん参加していました。仲良く

交流していた場面にもお目にかかり



ましたが、全体としては、ちよつと積

極性に欠ける部分もあったようです。

例えば、自国のメンバーだけで固

まっている外国スカウトに、「こつち

へおいでよ。ぼくたちと一緒に遊ぼ

うぜ」というような内容を英語で

語りかけてもよさそうな場面にも何

度か出会いました。すぐ隣にいるの

だから、身振り手振りでもよいから、

何らかのアプローチをして友情を芽

生えさせてほしいかなと…。

ある活動基地では、グループ行動

の時間は外国人だけのグループで行

動していました。通訳の都合とか

様々な理由はあるのでしょうか、せ

つかくのチャンスなのだから混成チ

ームにできれば」と思いました。

最初の一言を発するのに勇気がい

るとか、年頃なので照れくささもあ

つたりするのでしょうか、これだけ

たくさん外国の若者と、同じ時間

を過ごす機会にはそんなにはないはず

です。下手な英語でもよいから、も

うちよつと積極的に話しかけてほし

かったと思います。

外国スカウトもそうですが、この

大会での出会いは、生涯の貴重な財

産となるはずで

です。昨日まで知らな

い者同士が、自然の中で一緒にキャ

ンプ生活を送り、互いを認め合い、

また競い合いながら成長していくこ

とのすばらしさを実感してくれたで

しょうか。ベンチャーの年代。今し

か経験できないこともあるはずで

す。きみの未来とぼくの未来をともに

読んで—Do Venture! 扉を開

くのは、きみたち自身なのです。

5NV活動基地——ご迷惑おかけしました。

アポなし取材

① 長崎

突然の来訪で被害を受けた基地関係者からの
おたより募集します

今回の5NVの広報の取材活動において、最も周囲の人々にご迷惑をかけ、また助けていただいたのが、活動基地の取材でした。

機関誌「スカウト」「スカウティン グ」および記念アルバム合同取材チー ムを組んだのですが、台風の影響で、 前半はほとんど写真が撮れなかった のです。特に活動基地については、 すっかり予定が狂ってしまいました。 そこでデスクの判断は、手の空い ている者は、「とにかくどこかの活動 基地に行かせて取材させよう」でし た。アポなし取材の始まりです。

八月三日、古い歌謡曲ではありま せんが、長崎は今日も雨。七時半頃 駅に着いた私は、長崎基地になっ ている「永井学生センター」に電話を して道を聞きました。

「長崎大学の前でバスを降りたなら、 坂を登って橋を渡れば、あなたは建

物を見ざるを得ない」しっかりとし た口調の変な日本語の主は、センタ ーの神父さんでした。

学生センターでは、ボーイスカウ トの制服姿の指導者の方が出迎えて くださいました。ちょうど朝礼が始 まるところ。ベンチャースカウトの 他に、数人のガール、背の高いアメ リカスカウトのグループもいます。 神父さんが日本語と英語で、長崎の 歴史について、文化について、熱っ ぽく話をしてくださいました。スカ ウトたちも神妙な顔つきで聞き入っ ていました。

長崎といえば、第二次世界大戦で、 原子爆弾が投下された街です。その 街に日米の若者が集い、一緒に学び、 平和について語り合うことは、とて も意義深いことだと思いました。

朝礼の後一行は、徒歩で永井隆記 念館へ。永井隆博士は、被爆地長崎



の復興と、傷ついた子どもたちの心 を豊かにするために生涯を捧げた人 物です。記念館では、語り部さんか ら被爆当時の話、永井博士の精神に ついて話してもらいました。スカウ トにとっては、知ってるつもりで知 らなかったことばかり。戦争につい て、平和について、改めて考えるよ い機会となったようです。記念館を 出た後は、長崎市内を自由散策。坂 が多くてくたびれました。

▶長崎市内を散策するアメリカのスカウト。浦上天堂の前で

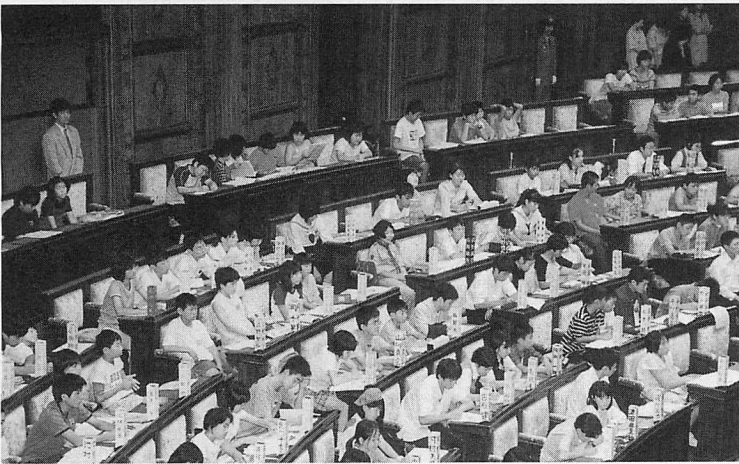


子ども国会開催

21世紀を担う子どもたち 議会の役割学ぶ



去る八月三日、国会議事堂に全国から選出された「子ども議員」を集めて、『子ども国会』が開催されました。子ども国会は、一九九七年以来、二度目の開催となるそうです（『スカウト』一九九七年一〇月号参照）。

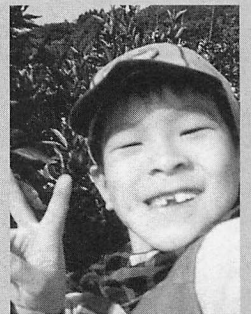


本物の国会議事堂で審議する子ども議員たち。普通では体験できないすごい夏休みの思い出ができてしまいました。写真をよく見ると、スカウトの制服を着た子どもがいます。彼らがこの子ども国会に参加してどんな感想を持ったか、審議の中でどんな発言をしたのか…とても気になるのですが、時間の都合で取材は今月号に間に合いませんでした。次号、参加したスカウトたちの声を中心に届けたいと思います。

ビーバーのプログラムは「遊び」が中心

ビーバースカウトの宿泊を伴う活動についての位置づけやあり方は、プログラム委員会で検討され、県コミッショナー研究集会等での関係各位からのご意見や専門家からのアドバイスをいただき、これらを参考としながら「基本方針」を検討し、これに基づく12項目の「配慮事項」が設定されました。ここでは、ビーバースカウト部門の部門プログラムとしては、従来どおり「遊び」を中心とした短時間の活動を基本とすることが改めて確認されています。（『スカウティング』5月号参照）

左記についてのあなたの隊での体験や、保護者の意見、指導者としての悩みや提案等、『ビーバースフォーラム』の係りまでお寄せください。宛先は42頁。



ジャンボリー・オブ・ジ・エアー みんなで参加しよう!!



世界スカウト機構が主催し、毎年四八時間にわたって、世界中のスカウトたちがアマチュア無線の電波を通じて展開するインターナショナルなイベント、それがジャンボリー・オン・ジ・エアー(JOTA)です。一九五八年に初めて開催され、今年で四三回目を迎えます。

JOTAの目的は、電波を通じて、国内各地や外国のまだ会ったことのない兄弟スカウトたちと話をかわして、お互いを理解し、知識と友情を深めることです。無線通信やエレクトロニクスについて興味と夢を持ち、スカウティングの素晴らしさに出会うため、今年もJOTAに参加し、成功させましょう。

同時に第五回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)も開催されます。

◆参加方法◆

スカウト関係者であれば、誰でも参加することができます。班・隊・団・地区・県連盟で、それぞれのプログラムとして実施をしたり、個人・任意のグループ(クラブ局等)等、形態は問いません。

アマチュア無線の免許を

持っている人

国内各地や外国のスカウト仲間と交信し、互いの氏名・所属団・住所・活動状況等を話し合い、記録をとります。

・持っていない人

日本では免許を持たない者の交信は禁止されているため、参加局の交信を聴取することによる参加とします。

◆運用方法◆

世界的に定められているスカウト周波数、またはその前後の周波数において、スカウト仲間を呼び出すか応答し、交信相手を決めます。

相手局が決まったら、他の周波数に移り交信を開始します。ただし、周波数帯によっては、混信のため移れない状態のときもあります。スカウト周波数だけに固定せず、前後の周波数も有効に使用しましょう。

公式周波数といっても、ボーイスカウトの独占周波数ではないので、使用する際には、その周波数が使われていないかどうかをよく聞き、他の局に迷惑をかけないように心がけます。また、他のアマチュア無線局

10月21日0時～ 10月22日24時まで 48時間開催!!

周波数帯 (BAND)	電話 (PHONE)	電信 (CW)
7MHz帯	7.090MHz	7.030MHz
14MHz帯	14.290MHz	14.070MHz
18MHz帯	18.140MHz	18.080MHz
21MHz帯	21.360MHz	21.140MHz
24MHz帯	24.960MHz	24.910MHz
28MHz帯	28.390MHz	28.190MHz

周波数帯 (BAND)	電話 (SSB)	電話 (FM)
3.5MHz帯	3.545MHz	
50MHz帯	50.250MHz	*51.440MHz
144MHz帯	*144.250MHz	
	*144.340MHz	
430MHz帯	*433.340MHz	

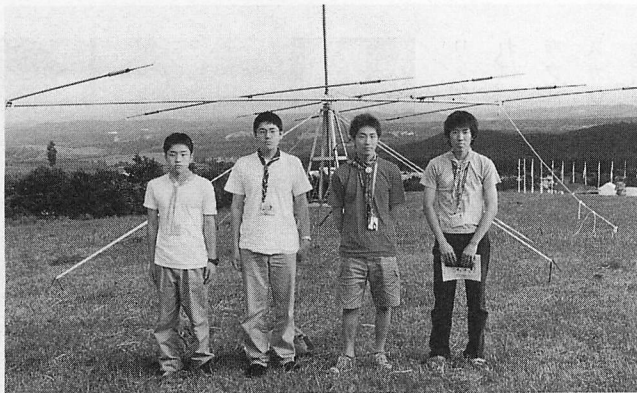
*この周波数については、地域によって異なる。
FMは、スカウト周波数および前後20MHzきざみの周波数を利用する。

第5回ジャンボリー・オン・ジ・インターネット(JOTI)

無線のかわりにインターネットを利用して情報を交換し、友好を深めることを目的に、JOTAと同時開催されます。詳しい情報は、日本連盟のホームページをご覧ください。

<http://www.scout.or.jp/>

5N Vのアマチュア無線の
大きなアンテナの前で記念撮影。



の理解と協力が得られるように、正しい運用マナーに努めます。そのために、一般アマチュア無線局とも積極的に交信し、JOTAおよび、スカウト運動について理解を深めてもらうようにしましょう。

◆参加規定◆

- ・参加局は、免許を受けている出力・周波数・電波型式の範囲内で運用する。
- ・電波法等諸規則を厳格に守り、日本

アマチュア無線連盟の定める各周波数帯の電波型式利用区分に従う。呼び出しは次の要領により、これに対し応答する。

電話 CQジャンボリー
電信 CQJAM

世界スカウト周波数は、原則として呼び出しだけに利用する。

◆参加報告◆

参加した隊・団・地区等は、一月一日(金)までに日本連盟宛以下

のものを提出してください。

- ・参加報告書(添付様式に記入)
- ・返信用封筒(参加証「ハガキ大」を送付できるサイズ)
- ・返信用切手(参加証の枚数を考え、相当額の切手を封筒に貼付)

日本連盟は世界スカウト事務局へ参加状況の報告をします。報告書提出者には、世界スカウト事務局発行の参加証を参加人数分送付します(訪問者には参加証の発行はありません)。

第43回世界スカウトジャンボリー・オン・ジ・エアー 参加・交信報告書(様式)

報告者	氏名	所 属	連盟 第 団 隊	社 団 名	住所		
	局名						
参加者	スカウト	指導者	その他	合計	局名		
	____人	____人	____人			交信 受信 記録	日時・信号強度・氏名・所属隊/団/連盟等
	運用者	____人	____人				
	聴取者	____人	____人				
訪問者	____人	____人					

JOTAに参加しよう!

愛知・西春第1団 山田建二 (JA2EVO)

東名高速道路豊川インターを降りて約30分。新城市外れの山中に、愛知連盟吉川野営場がある。野営場入口の左手に立派な管理棟があり、この管理棟では、各種の研修会が頻繁に実施されている。



管理棟を少し上がったところに、愛知連盟のたいそう立派な無線棟がある。ここが無線設備の常置場所である。たいそう立派な、と書いたが、無線室を「シャック」ということから推測していただければ…。

このシャックは約一二畳ほどの大きさである。すべての無線機器を並べて各周波数ごとにオペレーターが、ついても余りあるスペースだ。だが、多くのスカウトが見学や運用をしに入室すると、さすがに狭い。床が抜けるのではと心配したくなる。このシャックのすぐ横ではテントが数基建てられるので、JOTAのような夜遅くまでの行事には最高の場である。

愛知連盟のアンテナ群はすごい。正直自慢できる大変なものである。無線棟すぐ横に、高さ二〜一五メートルの四本のマストが建っている。3・5MHz〜430MHzまで運用可能である。さらに無線機器にはピグナー向けの10W機と上級者向けの50W機が設置されている。

JOTAになると指導者に引率されてスカウトたちがやってくる。21MHzで海外や北海道・沖縄とのスリ



リングな交信を楽しむスカウトもいれば、144MHzで地元スカウトとラグチュー（おしゃべり）を楽しむスカウトもいる。スタッフにDX（遠距離交信）やアンテナについて質問する熱心なスカウトもいる。シャックは夜遅くまで大変賑やかである。

スタッフは子どもたちにできるだけ交信を楽しんでもらおうと、ほとんどの時間を指導に費やしている。また、引率指導者の方にはアマチュア無線やJOTAをできるだけ理解していただけるよう努力している。

JH2YSは今年もJOTAに参加の準備をしている。JOTAで会いましょう。

JOTAで会いましょう

埼玉・越生第1団ボーイ隊副長 伊藤佳和

このたび、「ボーイスカウト越生第1団ハムクラブ」を開局しました。コールサインは、「JO1ZTA」といい、真ん中の2文字を抜くと、なんと「JOTA（ジャンボリー・オン・ジ・エア）」となります。10月のJOTAに「CQジャンボリー」とHF帯とUHF帯で参加し、世界中のスカウトに呼びかけます。みなさん、JOTAで会いましょう。

◀「スカウト」の表紙をQSLカードにしました





いよいよ今月です
9月15日
スカウトの日
環境 人権 平和
国際理解
幅広い活動をしましょう!!

カントリー大作戦

日本全国の加盟団・隊のスカウト・指導者が地域社会への奉仕活動をはじめ、様々なスカウト活動を各地域において一斉に展開します。加盟員一人ひとりが地域社会に貢献するとともに、スカウト運動が地域社会に根ざした実践活動であることを広く社会にアピールすることを目的としているのが、この「スカウトの日」です。今年には20世紀最後のカントリー大作戦となります。日本のスカウティングが将来へはばたく基点となる活動としていくことが求められています。さらに、今年にはユネスコが提唱し国連が決定し、第35回世界スカウト会議で参加・協力・推進が決議された「平和の文化国際年」にあたることから、9月を「平和の文化国際年強化月間」として、環境のみならず人権、平和、国際理解をテーマとした幅広い活動が期待されています。

平成11年度 スカウトの日 実施報告

北海道

釧路市 釧路団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約50名、ゴミの回収量は約100kgに達しました。また、環境美化の大切さを伝えるためのポスター作りも行われました。

旭川市 旭川団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約30名、人権の大切さを学ぶことができました。

札幌市 札幌団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約40名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

東北

仙台市 仙台団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約60名、ゴミの回収量は約150kgに達しました。

盛岡市 盛岡団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約35名、人権の大切さを学ぶことができました。

仙台市 仙台団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約45名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

関東

東京都 東京団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約80名、ゴミの回収量は約200kgに達しました。

さいたま市 さいたま団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約40名、人権の大切さを学ぶことができました。

さいたま市 さいたま団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約50名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

中部

名古屋市 名古屋団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約70名、ゴミの回収量は約180kgに達しました。

岐阜市 岐阜団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約30名、人権の大切さを学ぶことができました。

岐阜市 岐阜団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約40名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

近畿

大阪市 大阪団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約90名、ゴミの回収量は約220kgに達しました。

京都市 京都団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約45名、人権の大切さを学ぶことができました。

京都市 京都団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約55名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

中国

広島市 広島団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約65名、ゴミの回収量は約170kgに達しました。

岡山県 岡山団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約35名、人権の大切さを学ぶことができました。

岡山県 岡山団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約45名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

四国

高松市 高松団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約55名、ゴミの回収量は約140kgに達しました。

徳島県 徳島団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約30名、人権の大切さを学ぶことができました。

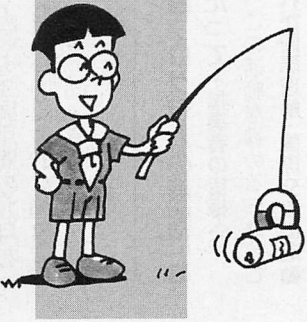
徳島県 徳島団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約40名、国際理解の大切さを学ぶことができました。

九州

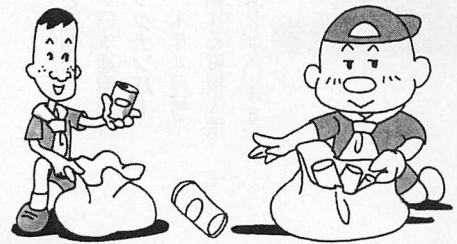
福岡市 福岡団
 本日の活動は「環境美化の推進」を目的として、市内の公園や河川沿いの清掃活動を行いました。参加者は約75名、ゴミの回収量は約190kgに達しました。

北九州 北九州団
 本日の活動は「人権啓発」を目的として、市内の小学校で人権学習を行いました。参加者は約40名、人権の大切さを学ぶことができました。

北九州 北九州団
 本日の活動は「国際理解」を目的として、市内の小学校で国際理解学習を行いました。参加者は約50名、国際理解の大切さを学ぶことができました。



毎年、素晴らしい成果をおさめているカントリー大作戦。今年はどうなドラマが繰り広げられるのでしょうか…。(平成11年度報告書より)



今年も平和の文化国際年

(6・最終回)



難民や

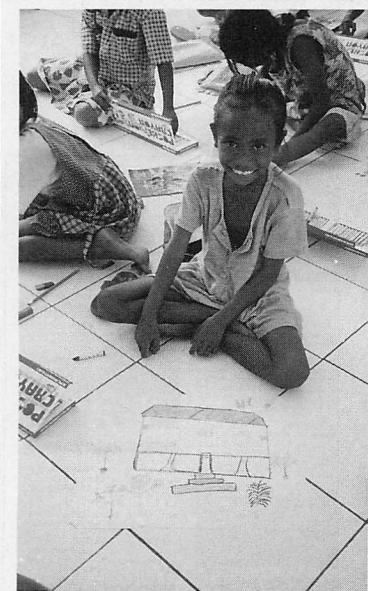
紛争地域の

子供たちに

絵を送ろう

■ローバース会議が提唱
五月に開催された「平成十二年度年次全国会議」において、ローバース会議から国際協力・貢献活動の一環として、「紛争地域の難民の子供たちに日本の子供たちが描いた絵を贈り交流しよう」という提案が行われました。(本誌六月号三二頁参照)

この「国境なきアーティスト達」というNGOが行っている活動(左頁参照)に協力・支援しようという試みです。様々な点で日本とは異なる環境に置かれる子供たちへ絵を通じた交流を呼びかけることで、スカウトたちの国際理解・貢献活動を推進することとその狙いとしています。



■なぜ「絵」なのか
友達がいることを知り勇気づけられる様子も見ました。彼は、紛争で傷を負った子供たちの心を癒し、カタルシスし、今後も様々な芸術活動を(精神の浄化)を得るために提供していくことにしています。表現することが非常に有効な手段であると考えています。私たちはこのような活動を支援することで、厳しい状況に置かれる紛争地域の子供たちを励ますとともに、日本実際に子供たちと絵を描くワークショップを展開した「国境なきアーティスト達」は、初めはおとなしかった子供たちの表情に次第に輝きが戻ってくる様子を見ました。また日

■プログラムの展開にあたっては指導者の皆様へ
この活動を進めるには、これが国際理解・国際交流の活動であることをスカウトが知ることが基本・前提となります。まず、スカウトたちに世界がいろいろな国や地域で構成されており、そこには様々な困難に直面している人々がリアルタイムに存在していることを十分に理解させる。そのうえで、世界の子供たちが友達になることが二一世紀の世界平和につながることを説明する。

●「世界の仲間とともに」
ボーイスカウト日本連盟発行
●本連載記事バックナンバー
本年4月号
(様々な問題に関する資料入手先などを紹介しています)





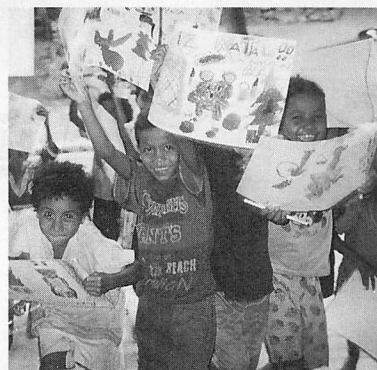
**ARTISTS
WITHOUT
BORDERS**

**■国境なきアーティスト達
Artists Without Borders**

1999年、ユーゴスラビアでコソボ紛争を取材したコロンビア人映画製作者エクトル・シエラ氏により東京で結成されたNGO。才能あるアーティスト達の活動を促進しながら、戦争犠牲者の援助を行っている。中立的非政府組織で、活動は独自に選択。民族紛争や内戦の被害者の援助を最優先にしている。

主催のシエラ氏は「民族間の問題は、寛容・共存・許諾・和のみが解決策である」とし、人々の戦争や紛争に対する関心を高めながら、苦境に立つ人々を援助すべく情熱を注いでいる。氏の趣旨に賛同する多くのアーティストが自発的に活動を展開しており、ジュニア組織として『国境なきチビちゃん達』がある。また、オーストリア航空、TOYO Co., Ltd.、コクヨ、ニベア花王、住友3Mなどの企業、報道機関等も協力している。

詳しくはインターネット・ホームページ参照
<http://www.5a.biglobe.ne.jp/~artWB/>



■この活動について

日本連盟プログラム委員長

谷口 修

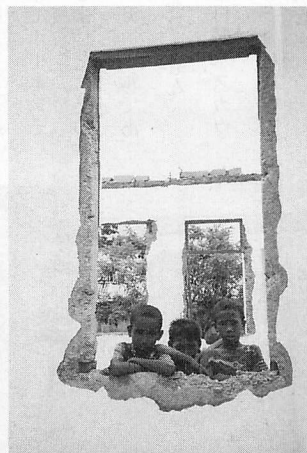
このたびローバース会議が提唱した「難民や紛争地域の子供たちに絵を送ろう」というキャンペーンは、ローバースカウトによる国際貢献活動であり、また年少のスカウトにとっては国際理解・協力プログラムの展開になるという二つの面を持った提案で、素晴らしい企画です。具体的には、スカウトによって描かれた絵を集めて現地に送るというシンプルなものです。

活動の背景として、現代世界の困難な面に気づき、現代世帯と違う環境や文化の中で生きる子供たちがいることを知り、その状況を少しでも良くするために具体的な行動を起こしてもらいたいです。

平和に向けた基本的な心（平和の文化）を養うきっかけともなる活動ですから、スカウトの人格育成に大変良い影響を与えることができると思います。

また、今月は「平和の文化国際年強調月間」でもあります。この時期にこのような企画が立ち上げられることは大変時宜を得たことです。今月一五日の「スカウトの日」に国際理解プログラムを実施される隊も多くあるかと思えます。今回提案された企画を引き続き検討実施されてはと思います。今後ローバース会議から具体的な計画が出されるかと思っておりますので、ぜひ前向きに検討していただくようお願いいたします。

絵を送る方法の詳細、時期等については、現在「国境なきアーティスト達」と相談を進めているところです。まず



おしる

時期的にあと少し早ければもっと具体的な作品募集がこの強調月間にできたと思われたいのですが、あと少しでこのプロジェクトも具体化する模様です。

皆さんの隊活動の中でこのプログラムに取り組まれる際、これまでの六回の記事が少しでもお役に立てればと、今は祈るような気持ちです。

木本

先月の本項の連載番号が4となっていました。失礼いたしました。

歓迎

7月27日(木)
東京・晴海



日韓交歓

韓国スカウト招聘

韓国からやってきたスカウトは、三三隊、約二〇〇人。七月二十七日に成田に到着後、レセプション会場になった東京都内のホテルへ向かいました。

二八日は東京見物。第一隊はその後5N参加のために九州へ。会期中、活動基地・主会場とフル参加でした。第二隊は広島へ移動後、新潟でホームステイ。そして日本海大会に参加しました。第三隊はやはり広島へ移動、その後兵庫でホームステイ。兵庫大会に参加しました。どの隊もかなりハードスケジュールであったことはいうまでもありません。

そして八月七日には日韓米スカウトフォーラムに参加するために神奈川へ。帰国が八月一〇日ですから、



日程の密度の濃さは相当なものだったでしょう。もちろん各地で日本のスカウト、そして他の国のスカウトと仲良く交流し、意見を交わし、充実した時間を過ごしてくれたであろうと思います。

◆ ◆ ◆
韓国のスカウト、そして米国のスカウト滞在記については、来月号で詳しくお伝えしたいと思います。

◆ ◆ ◆
今後、国際的な行事や活動への参加がますます増えていくことでしよう。お互いの理解を深め、友情を育んでいくことができれば、とても素晴らしいことです。若い世代のスカウトたちが、世界平和の架け橋となってくれることを期待します。



元気な笑顔で

BS活動に関わるみんなで作る月刊誌

ボーイスカウト

SCOUT
SCOUTING

セレモニーの体験レポート

本当に役立つプログラムの提案

すばらしい指導者の話…etc

大募集

採用されれば……
記念品贈呈!

■5N.Vに参加したぞ

久住高原で燃焼した青春。ものすごく感動したこと。ひどくがっかりしたこと、予定どおりに事が進まなくて歯ぎしりした思い出等、5N.Vで体験した様々なエピソードをお待ちします。大会運営に関する提案等も大歓迎です。

■アドルトリソシスって?

スカウトの指導者はこうあるべきだ。高い意識レベルを保ち、技能と知識に優れ、そしてすばらしい人間性…。スカウトたちを指導するのに本当に必要なものは何か? 「スカウトが主役」の運動にとって一番大切なものは何か? あなたの熱い意見を待っています。指導者養成やトレーニングの制度に関する意見も歓迎。

■環境と野外活動について

野外活動なくしてスカウトは語れない。だけど、野外活動は環境破壊につながるのか? 地球に優しいキャンプって? C.W. ニコルさんは「焚き火はやるべきだ」っていつているけれど、あなたの意見は? : : etc.

■募金活動について

スカウトは様々な募金活動に協力

しています。街頭に立って募金を呼びかけるだけでなく、意味や目的をもっと深く理解するために、どんな工夫が必要でしょうか?

■組織拡充について

さらに減少を続けるスカウト人口に歯止めを! あなたの団が行っている入団促進のための工夫。中途退団者をなくすための涙ぐましい努力。

団員を確保し、組織を維持していくための、他人には言えないような苦労話等をお聞かせください。

■オレにも言わせる

「魅力的なプログラム作りのために、こんなことをしているぞ!」「こういう情報がほしい!」「私が考えるダメ指導者とはこういう人だ!」「安全管理のための提言」「需品はこれでもいいのか?」「日頃から抱いている疑問や不満をぶつけてください。」

■その他・何でもWELCOME!!

スカウト活動に関することなら何でもOK! 気取らずかまえず、素直なあなたの言葉でおたよりをください。スカウトたちとの活動の中で見つけた小さな幸せ、ちょっといい話を聞かせてください。(宛先は四頁)

泣き笑い劇場

おたよりのページ

こどもフェスティバル in SANNOに奉仕して

栃木・南部地区副委員長 出井 肇

今年三月末に栃木県佐野市に新しくオープンした「佐野市こどもの国」

において、ゴールデンウィークの期間中に実施された「こどもフェスティバル in SANNO2000」（こどもフェスティバル企画事業実行委員会主催）の催しのひとつとして、「自然と遊べる」ボーイスカウトのプログラムを提供してほしいと、同実行委員会から南部地区協議会へ依頼がありました。各団関係者との協議の結果、日頃スカウトたちが訓練で鍛え上げているパイオニアリングの技等を披露できるものを展開し、協力しようということになりました。

地区委員長を中心に地区役員、各団指導者およびベンチャースカウトらにより、前日の早朝から夜遅くまで、主にロープワーク等の技能を使いながら「ターザン遊び」「蜘蛛の巣」「モンキーブリッジ」「ダイヤモンドブリッジ」「ガンダムジャンプ」「ドラゴン壁」「迷路」等、「アドベンチャーストーリーランド」と題した

「手づくり冒険ランド」を作成し、本番を迎えました。

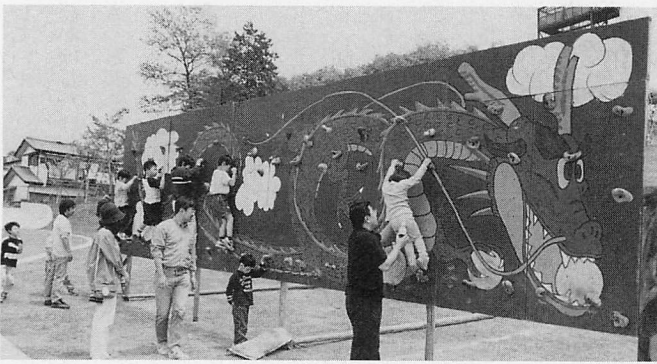
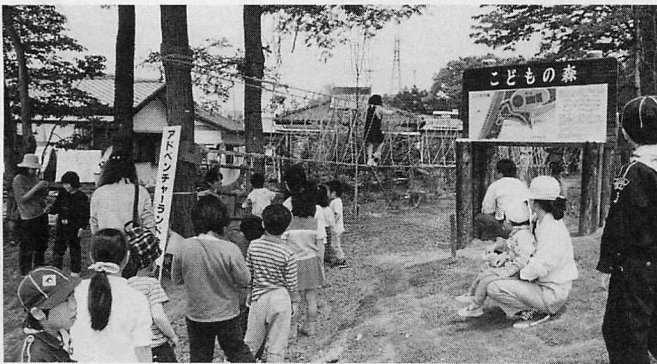
当日は天候にも恵まれ、イベントに訪れた親子連れや小中学生が冒険心を発揮し、楽しそうにチャレンジ。また、来場者に対し、BS活動をもっと知っていただくよう、PRの一環としてポスターを掲示、パンフレットも配布し、組織拡張のための普

及活動も行いました。

来場した方から、「ボーイスカウトは募金活動や各種大会行進のプラカード持ち等の奉仕活動を中心に行っている団体だと思っていた。こういう活動をしているなら、ぜひうちの子どももボーイスカウトに入隊させてみたい」と声をかけられたり、実行委員会の役員の方々は「期待してい

たとりの内容だ。さすがはボーイスカウト！」と賛辞を受けるなど、活動内容に高い評価をいただきました。

このようなボーイスカウト活動を、評価されての大きかりな事業奉仕を、地区単独で依頼されたことは初めてであったと思います。これを機に、地域での奉仕の関わり方や、ボーイスカウト運動についての研究・協議を重ね、誰からも「スカウティングはすばらしい」と評価されるような活動を続けていきたいと思ひます。





感動の表彰式

川又理事長から賞状をいただく「くま隊員」の小山貴大くん。ちょっと緊張気味。

ぼくらの環境プロジェクト

茨城・土浦第七団カブ隊隊長 小林菊夫

平成二十一年一月二十四日、茨城県連盟主催第一〇回カブラリー、第一回ビーバーカブラリー大会が笠間市芸術の森公園で盛大に行われました。

カブラリーのテーマは「きれいな地球、ぼくらは元気」です。我が団も、「環境エコ活動」に取り組みました。隊集会や組集会で、リーダーと一緒に市の焼却場を見学、粗大ゴミの分別を学び、生ゴミの多く出るスーパリー等のゴミの行方を追いました。その結果、どんなものが再利用できるか、資源になるものは何か、スーパリー等から出る生ゴミ等は家畜の餌、家庭からのゴミはプランター用の肥料になること等もわかりました。

調べた結果を図にまとめ、第一〇回カブラリー大会で発表しました。どこの隊も熱心に発表していました。そして今年平成二十二年五月二十八日の県連盟年次総会終了後、午後二時から、カブ隊の取り組んだ『ぼくらの環境プロジェクト、エコ活動』の表彰式が行われました。「優秀賞」は

土浦第七団は、「エコ活動」で二種目のプロジェクトに取り組み、見事二つとも受賞しました。「忍法再生の術」賞と「省エネルギー」賞です。



のがしたものの、「努力賞」を二八隊を代表して、我が土浦第七団の小山隊員が、堂々と川又理事長より賞状を受け取りました。私も「こんなことはめつたにないことだから」と、「くま」隊員九名とカブ隊リーダー二名とともに出席し、表彰式の感激を隊員たちと胸に深く味わいました。

スカウトコレクション なんでも展

4月の土日・計6日間公開

記念グッズ展示

和歌山・和歌山第21団
嶋田士郎

発団二二周年を記念して「スカウトコレクションなんでも展」を実施しました。スカウト仲間だけでなく、一般の人にも見ていただけるイベントとして企画し、新聞社の取材も受けました。



アダルトリソース方針の目指すものは何か

アダルトリソース委員会委員長 牛山佳久

誤解を解くために

アダルトリソース方針の導入について、何度か『スカウティング』誌に掲載してきましたが、各方面で誤解が生じている状況があるようです。例えば、「リストラである」とか、「外部の人材が現職の指導者の方々に取って代わる」等の風評があるようです。そこで、アダルトリソース方針は何を目指しているのかを再度確認していく必要があると考えます。

世界戦略の一環

この方針の決議は、一九九三年のバンコクの世界会議で、「二〇〇二年に向けてのスカウティングの世界戦略」として、五項目の戦略目標を設定し、加盟各国が一〇年間に渡り取り組むこととしたことがスタートです。その後、この戦略目標について我が国では特に議論・検討されずに年月が経過し、一九九七年頃から、戦略目標の一部であるこの方針の導入の検討が始まりました。

五項目の戦略目標（「スカウティング」一九九八年五月号参照）とは、

① 青少年プログラム（世界プログラム方針をベースとして）

② スカウティングにおける成人会員（アダルト・イン・スカウティング）

③ 各国スカウト組織の運営

④ 世界スカウト機構の自己財源

⑤ スカウト運動の発展

このうち、最大の目標は⑤のスカウト人口の増加ですが、これらは、通常の企業経営による経営資源、「人（成人）」「もの（青少年プログラム）」「金（財源）」「経営手法（組織改革）」により、人口の増加（企業の伸長）につながるというものです。

さらに、①の青少年プログラムが二二世紀の初頭により適切に開発され、そのプログラムを支援する成人をどのように確保し、訓練し、実践していくか、また人材の有効かつ適切な運用ができる組織改革を行い、財源の安定的な確保を行うことで、社会的にも認知される運動体として多くの青少年の参加が得られるという事です。

従って、この方針は、五項目の一部であり、スカウティングという教育方法がどれだけ青少年にインパクトを

与えられるか―青少年プログラムの開発―が重要なポイントであります。

インパクト

私見ではありますが、『スカウティング・フォア・ボーイズ』を例にとりますと、この本には野外生活術や観察・推理・健康等豊富な内容が書かれています。この本を読んで、少年たちが自発的にスカウティングを始めたと伝えられているとおり、実際に実行してみても、今までの日常生活では得られなかった新しい発見や、楽しさ、生きる喜び等の強いインパクトが得られ、スカウトになることの喜びを感じ、自ら変容して、社会に役立つことの大切さや、感動が得られていったのだと考えます。

よく使われる表現で「集会のプログラム」と「個人のプログラム」というものがありますが、重視すべきなのは、「個人のプログラム」であり、日常生活の中でどのようにスカウトの手法によるインパクトを与えられるかが大きなポイントであろうと考えます。

このような、インパクトを与え、

的確に支援できる成人（隊指導者等）をどのように確保し、その成人を周囲の成人がいかに的確にサポートしていくかが、方針の大きな狙いです。

主体は青少年

これも私見ですが、スカウティングは青少年の二四時間のライフサイクルに組み込まれ、スカウトでなければ得難い体験・感動を提供していくことで青少年にインパクトを与え、かつ『スカウティング・フォア・ボーイズ』が発売された頃の自発的で社会に役立つ青少年として成長していくものであり、と考えます。

このため、スカウトと直接接する指導者にどのように適切なサポートができるか。各種の役員（地区・県連盟・日本連盟）は、そのための責務を担い、より充実したサポートを提供していく任務をもつものであると考えます。

この運動の中心であり主体は青少年であり、それを日常的にサポートしている隊や団の指導者が活力あるスカウティングを提供できるようにすることが必要であろうと思えます。

好評につき
増刷しました



責務の確実な実行

従来までは、ややもすると成人の名誉心や、役職に対する権威付け、キャリア、訓練の経歴等を重視する傾向がありました。

しかし、それぞれの各種役員のポジションによって責務の重要度とそれを果たせる資質は異なりますが、あくまでも中心は青少年であり、それをサポートする隊や団の充実、いい換えれば、世界戦略の五項目が隊や団でより健全に進展していけるようサポートすることが求められていると考えます。

従って、この方針は決してリストラではなく、外部の人材の投入により現職の各種隊指導者の方々を排除していくことではありません。

すべての指導者に読んでもらいたい
話題の本が ついに出版されました。

翻訳本

アダルトリソース

好評発売中

A4判 本文六四頁
定価 八五〇円



むしろ、各種隊指導者をサポートするべき各種の成人については、任務を明確にし、果たすべき責務を確実に実行できるようなシステムを考える必要があると思われれます。

また、青少年プログラムの開発について、ここでいうプログラム開発とは、日本の青少年が二一世紀に向けて、世界および国内で有効な人材として、やがて二一世紀の主體的な役割を果たせるようなトータル的なプログラム開発のことですが、これらの方向性により、プログラムを支援するためには、様々な成人の人材を確保し、活用しつつ、日常的なトレーニングやサポートができるような体制作りが求められます。

このような中で、隊指導者を直接・間接に日常的にサポートする役

割を担う各種のコミッショナーについて、今後どうあるべきか、現在当委員会と機構改革委員会が検討中です。隊指導者をサポートするという視点では、最も重要な部分であろうと考えます。

意義の再確認

以上のような点で、十分にご理解いただけない面もあるかと思いますが、アダルトリソース方針が、世界戦略の一部であることと、現在加盟登録されている八万人の成人の方々がこの運動は青少年のものであり、スカウトの教育方法や目的・原理は「青少年の成長に貢献」するためのものであることの意義を再確認し、意識を改革していくことが必要であろうと思います。

具体的な行動計画が明確になり、日本連盟でも本格的に導入されたアダルトリソース方針。世界的な動きの中で、ボーイスカウトが抱える問題を解決し、基本にかえり、運動本来のあるべき姿を取り戻さねばなりません。二一世紀にさらなる発展をめざそうという強い意志と願いがこめられた一冊です。加盟員一人ひとりがその内容を理解し、真摯に向かいあわなくてはいけない大きなテーマです。ぜひ貴方のお手元へアダルトリソースを置き、真のスカウティングを目指してください。

スカウティングにおける成人
—世界スカウト事務局発行—
国際訓練ハンドブック
第201章～第204章 (改訂版)
—世界スカウト事務局発行—
青少年の教育
—国際アワード協会発行—



スカウト運動全体では、上下関係等は存在せず、ポジションに応じた役割と責務が異なるだけですし、「民主主義の発想」を青少年に提供するからには、成人の私たちが「民主主義の手法」で運営し、的確なサポートを行うことが重要です。そこには上下関係や「先生」は存在しないのです。

今般は、一〇月以降に、各プロック二会場を目的地に説明会を開催する予定でありますので、ぜひ多くの指導者の方々の参加を希望いたします。

海外派遣 オーストラリア 感想文



茨城県連盟 [報告書] より

オーストラリアの思い出

友部第一団 木村敏之

今回、ぼくは第三回のオーストラリア派遣隊員としてオーストラリアに行き、多くの貴重な体験をしました。

日本を出発するときは、英語が話せないことが不安でした。キャンベラの空港で、ホームステイの家族が英語で話しているのを見て、何を言っているのかわからずとても不安になりました。しかし、二三日すると英語が聞き取れるようになってきて、自分でも英単語と手振りで通じてくるようになり、とても嬉しかったです。せっかくホームステイ先の家族と英語を使って話せるようになってきた頃にお別れになってしまったのは、とてもつらく感じました。

お金を使うときも不安でした。最初はあわててしまっって、一〇ドル等を出して、小銭ばかりがたまってしまいました。

今回のオーストラリア派遣で一番印象に残っていることは、キャンプです。最初は、「キャンプなら日本で

もやっているんだから、どこでやっても一緒だろう」と思っていました。

しかし、オーストラリアの大自然の中でのキャンプは最高でした。川で泳いだり、夜のキャンプファイアでのゲームや隊員との話、日本ではやったことのないこともできて、とてもいい思い出になりました。今度自分たちの団でキャンプをするときは、このオーストラリアのキャンプで楽しんだゲームや話を、みんなに教えてあげたいと思います。

失敗もありました。シドニー見学のときのことです。帰りの電車で寝てしまい、バッグを電車の中に置いてきてしまったのです。隊長たちが次の駅まで乗っていったのでバッグは持つてきてもらえなかったけれど、置いてきたと気付いたときには冷や汗ができました。しかし、それも今となってはいい思い出だったと思います。

いろいろあったけれど、今回の派遣に参加できて、大変よかったです。

オーストラリア海外派遣団名簿

役務	氏名	所属団	役務	氏名	所属団
団長	堀江 郁男	岩井1	隊員	瀬川 宏貴	日立5
副団長	武田 秀夫	牛久1	隊員	海野 宏明	那珂3
団員	久保田銃十郎	日立8	隊員	木村 敏之	友部1
隊長	中島 清行	阿見1	隊員	星野 忠敦	日立5
副長	種田 嗣大	取手1	隊員	石川 武史	那珂3
副長	佐藤 康夫	阿見1	隊員	大沼 篤彦	日立5
上班	宇井 真	日立7	隊員	横山 正尚	日立7
隊員	青木 正純	取手1	隊員	武田 哲也	友部1
隊員	田中 康祐	岩瀬1			



▲シドニー空港からキャンベラへ向かう36名乗りのプロペラ機。

オーストラリア派遣に参加して

岩瀬第一団 田中康祐

オーストラリア派遣に参加して、ぼくにとっては、大変な経験とたくさん思い出ができました。オーストラリアの雄大な土地と、目を見張るばかりの豊かな自然には圧倒されました。特に、キャンベラのキャンプ地の広大さ、野生のカンガルーやワラビーを見て、日本では想像もつかないほどの驚きでした。

ホームステイでは、温かいレオさんの家族に大変お世話になりました。兄弟が六人いて、八人家族ですが、家に住んでいるのは六人です。最初は自分の英語が通じるかとても心配でしたが、何とか辞書を使って通じたときは、ホッとしました。家族全員が大変親切で、特にお母さんには食事やら洗濯やらすべてお世話になりました。ぼくにとつて忘れることのできない、初めてのホームステイの思い出ができました。

ホームステイの後風邪をひいてしまい、まわりの皆さんに迷惑をかけたしまったキャンプが、三月二四日から始まりました。キャンプ一日目は元気に参加できました。営火では、今までぼくたちがやっていたとは違う、団独自のゲームやダンスをいろいろ教わりました。大変楽しく、また、勉強にもなりました。

二日目は熱と咳が出て、精神的にとっても疲れた一日でしたが、何とかプロジェクトをやり遂げました。

三日目は、班長さんや班員の方々に迷惑をかけたながら、何とか最後まで頑張りました。とても心配だったブルーマウンテンに最後まで登ることができ、とても嬉しかったです。また、風邪をひきながらも班行動が最後までできてホッとしました。日本大使館訪問、ボーイスカウト交歓会等、充実した日々を過ごしました。

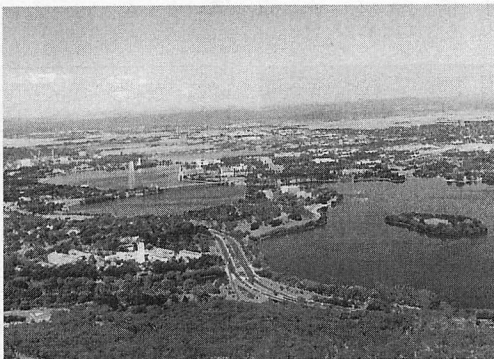


スカウトの人たちと二日間一緒に生活したことで、ボーイスカウトとは世界的にすばらしい組織であることが改めて感じられ、スカウトとしての誇りと責任を持って行動しなくてはと実感しました。

今回の派遣はいろいろと迷惑をかけてしまいましたが、またこのような機会がありましたら、ぜひ参加したいと思います。最後に、この派遣に参加したメンバーの皆さん、いろいろと教えていただきありがとうございます。またいつか会える日を楽しみにしています。



◀グリフィン湖畔。ホームステイ家庭とランチタイム。



◀キャンベラの全景。グリフィン湖と市内。

大募集!!

5 N V の思い出あれこれ...



汗と涙の八角堂建設 —ついに完成しました!!—

京都・京都第7団ローバー隊 高嶋 鉄

ローバー 誌上 76
通信 ローバームート
ROVERM OOT on PAGES

ROVER
moot
on PAGES

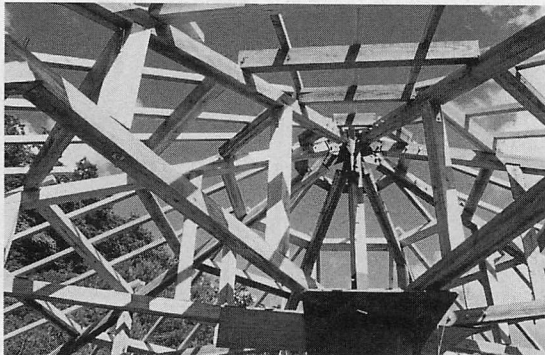
誌上ローバームート



全国のローバー諸君、後輩たちの模範となるような立派な活動をしてくれました。大人としての自覚と責任を持って発言してほしい。スカウティングに対する諸君らの真摯な姿勢に期待する。

「釘一本でもいい。穴を掘るだけでもいい。我々のキャンプ場に我々の手で八角堂を建てようではないか!!」
平成一一年度に団創立五〇周年を迎えた京都第七団と、ガールスカウト京都第一団の烏丸セコピア会では、記念事業として自団の所有する、京都府船井郡和知町にあるセコピアキャンプ場に自分たちの手で八角堂を建設しようということになりました。
そして平成二二年五月一〇日、構想から二年、着工から一年半の歳月をかけ、総工費約一〇〇万円にて無事完成させることができました。
思えば、完成までの道のりは大変険しいものでした。「雨天でも営火やセレモニーが行える雨天野外活動場がほしい」との思いでローバー隊を中心に建設をはじめたのですが、素人の集まりで、費用もありません。材木は団委員の知人の山から切り出し、道具は大工であるベンチャー隊長から借り入れ、毎週泊まり込みで作業を行いました。夏の暑い日に、顔が見えなくなるまでひたすら掘っ

どうです！本格的でしょう。ここまで仕上げるのがどれだけ大変か、想像してみてください。仲間が力をあわせることのすばらしさが、美しい形となつてそびえています。汗・涙・友情…青春だなあ。



た基礎工事。ノコギリ、ノミすらともに使えず、四苦八苦した材木加工。足場を組み、その高さに足をふるわせながら行った屋根部の作業。どれをとっても大変な作業でしたが、一番苦労したのは、営火をするため

詳しくはここ! <http://www.moot2001j.net/>

ボーイスカウトのみなさんへ ユニセフ支援活動参加のお願い



「ユニセフ活動のガイドブック」は、募金活動に加え、さらに充実したプログラム展開のためのヒントや、教材の資料案内等、今すぐ活用できる便利な手引き書になっています。全国各団に配布されていますので、ぜひお役立てください。

ユニセフは開発途上国の子どもの生命と健康を守るために予防接種の実施や初等教育の普及等、未来を担う子どもたちを最優先した援助活動を続けています。1998年度には全国のボーイスカウトの皆様方の熱心なご協力によって、726団より29,134,610円もの募金が届けられました。お寄せいただいた募金は、ニューヨークの本部を通じて世界161の国と地域の子どものために使われます。本年度も引き続き、ボーイスカウト各団の皆様にはユニセフ支援活動にご協力いただきますようお願い申し上げます。

開発途上国では貧困の中で1年間で1,200万人の幼い子どもたちが、肺炎、下痢、はしか等簡単に予防できる病気のためにその生命を失っています。保健・医療の不足といった厳しい生活環境の中で、慢性的な栄養不足や不衛生な飲み水等がその原因です。ユニセフは保健、栄養、教育、水・衛生、緊急救援等の援助事業を実施し、例えば予防接種の普及で年間300万人以上の幼い生命を救ってきました。ユニセフは今年も「子どもの権利条約」に基づき、すべての子どもに栄養、健康、教育を確保するために活動します。

ユニセフ執行理事会が援助計画を決定し、開発途上国別に予算配分され、ユニセフ現地事務所が子どもたちの栄養改善、教育の普及、保健と衛生、給水の向上等の援助事業に使用します。また、自然災害や紛争等緊急時においては緊急アピールによって寄せられた救援資金によって緊急援助事業を実施します。

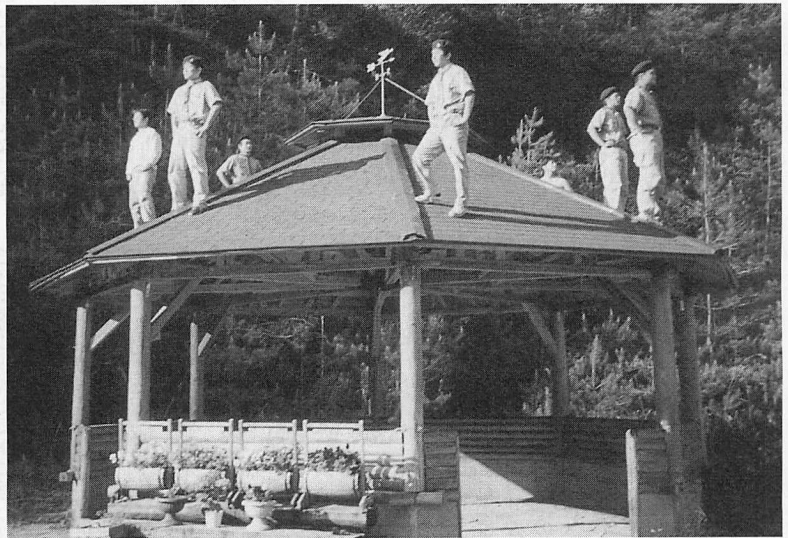
■お問い合わせ
(財)日本ユニセフ協会 協力事業部
TEL 03-3355-3222
FAX 03-3355-3810

おつかれさまでした



5NV 奉仕

ベンチャー大会の会場では、奉仕のローバースカウトも大活躍。若くてキビキビと行動するローバーが、運営を支えていた。上の写真は、8月4日、無事最終日を迎え、後は閉会式を残すのみとなったところで一服しているスナック。安堵感がにじみ出る飲みっぷりだ。



には中心部に柱を建てられないという点でした。

団委員は資金確保、カブ隊は石払い、先輩スカウトの技術的なアドバイス等々、文字通り「一致団結」があつたからこそ、完成することができました。プロの手を借りず、すべて自分たちで一步一步、コツコツと作業したことは、何物にも代え難い貴重な経験となりました。

過去に先輩スカウトが建てた山小屋とトイレとともに、八角堂はこれからも私たちのキャンプを温かく見守ってくれるでしょう。ただ、今のところキャンプ中に雨に降られたことはなく、八角堂も未使用のまま。少し複雑な心境ではあるのですが...

21世紀最初の大会 “ムート2001”

隊長への手紙 信仰心を育むために

No. 1

本物との出会い

総コミッショナー 杉原 正

ある夏の朝早くキャンプに参加したカブスカウトたちが、薄暗い海辺で水平線に向かって一列に並んで座っていました。

水平線がやや明るくなり始める子どもたちは、少しざわめいたが太陽が水平線に頭を出すとジーンと静かに見つめていました。

やがて太陽の姿の全体が見えると、「出たぞ」と歓声が、そして「きれいだな」「真っ赤だぞ」「大きいね」とあちこちから次々に声が挙がりました。

日の出を見た帰りの小道でスカウトたちは「あんなに大きく、きれいなもの、誰が造つたのだろう」と語り合いつつながら宿舎に帰っていききました。

また信州の高原でのピクニックの出来事。一人のビーバースカウトが羽化し始めているアゲハチョウのさなぎを目ざとく見つけました。近くにいたスカウトたちが、一人、二人と段々に集まってきてアゲハチョウ

を中心に小さな輪ができました。

やがてさなぎから完全変態に移り始め、縮んでいた羽が広がり、段々と緑がかった黄色の羽に黒い筋、そして斑点の色彩の鮮やかな、アゲハチョウの誕生でありました。

「きれいだね」「どうしてあんなに変わるのかな」「クレヨンにない色だね」と口々に不思議そうに話し合っていた光景を思い出します。

この二つの出来事は、ただ単に視覚のみから感動を覚えたのではなく、海辺の磯の香りや打ち寄せる波の音、また高原を渡る心地よく頬をなでる風や周りの草花の香りに包まれた大自然の営みの中で五感をとおして本

物に出会ったことが新たな感動につながっていったと思います。

自然の中の新しい発見と出会いが感動につながり、また発見と出会いが一体となったとき、子どもたちは人間を遙かに超えた何物かがあることを感じ取ったように思われます。

自然自体が作られたものではない本物だということ。つまり自然そのものに人間に強く訴えかける何かが力があるのだと思われれます。

ビーバリーやカブの年代から自然に誘うことが人間や自然を超える大きな存在に気付くことになり、信仰心を育むことにつながっていくのではないのでしょうか。

スカウト運動の使命として世界的な共通認識は、スカウトの「ちかい」と「おきて」に基づいた価値観を醸成することに重きを置いております。この根幹となるのが、世界スカウト機構規約の原則にある「神へのつとめ」「他人へのつとめ」「自分へのつとめ」であります。本連盟は、その意味からも

加盟員一人ひとりがそれぞれ明確な信仰を持つことを奨励しています。今回、宗教関係代表者会議のメンバーのご協力のもとシリーズとして「隊長への手紙―信仰心をはぐくむために―」を掲載することになりましたので参考にしてください。今後のスカウト教育に活用されることを期待しています。



SCOUTING BACK-NUMBER 1999.9-2000.8

ボーイスカウト日本連盟機関誌

全隊長購読キャンペーン

実施中!!



1999年9月号
8NA報告

スカウティング・フォー・オール。愛媛・松山野外活動センターの森所長が熱弁をふるう。



1999年10月号
新委員長に聞く

ボーイスカウト日本連盟常設委員会の4人の委員長登場。スカウティングの未来を語る。



1999年11月号
団の広報AtoZ

団の機関誌の企画・取材・編集から、マスコミへの売り込み方まで使える知識と情報満載。



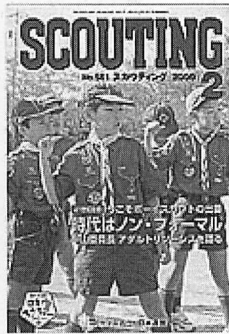
1999年12月号
熱血指導者大集結

ボーイスカウトを溺愛し、人生を捧げる指導者が全国から集まり、激しく熱く議論を展開!



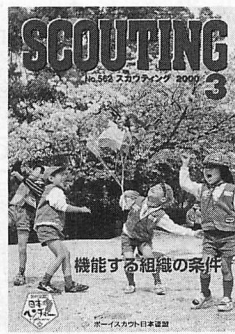
2000年1月号
ミレニアム対談

渡邊総長が、ベンチャー、ローバー世代と対談。「世界」を体験した若者たちが堂々発言!



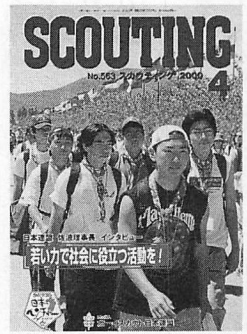
2000年2月号
時代はノン・フォーマル

牛山アダルトリソース委員長自らが熱弁を…。運動の未来と進むべき不幸は見えたか!?



2000年3月号
機能する組織の条件

現状団運営に「喝!」を入れる。ために、多くの資料からシビアな目で「組織」を分析・研究



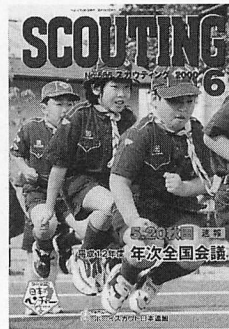
2000年4月号
佐波理事長インタビュー

若い力で社会に役立つ活動を! 上島常務理事が聞き手となり、現代の青少年教育を斬る!!



2000年5月号
平成12年度事業計画

「ひとりでも多くの青少年にスカウト活動を」全国会議を前に事業計画を詳しく解説する。



2000年6月号
速報 年次全国会議

5.20秋田で何が話し合われ、何が決まったか。今後、我々はどのように取り組めばよいのか。



2000年7月号
重点目標達成のために

今年度の重点目標について、常設委員会の委員長が解説。目標達成に向けての指針を示した。



2000年8月号
あらためて語そう キャンプのすばらしさ

野外活動は私たちの専門。だからこそ改めてその魅力を話し合う、ホットな座談会。

■お問い合わせ・お申し込みは

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

財団法人 ボーイスカウト日本連盟 組織部広報課「スカウティングバックナンバー」係

日本連盟からの

おしらせ

■七月中央審議会の開催（報告）

□日時 平成二二年七月八日(土) 一三時～

七月九日(日) 一三時～二五分

□場所 東京・ボーイスカウト会館

□出席者 新藤議長 他議員一九名

□参席者 杉原総コミッショナー 他六名

□協議事項

1 自然体験活動推進協議会加入に伴う今後の進め方について
「自然体験活動推進協議会」への加入に伴う今後の進め方について、協議の結果以下のとおり承認された。

①「自然体験活動推進協議会」認定団体として参画する。

②九月、那須野営場で開催する「野外活動セミナー」の開催要項。

③同セミナーへ一般から参加した修了者のその後の指導者登録は、ボーイスカウト組織を通じて行うことから、最寄りの団を紹介し、必要な登録の要件を満たすこととする。他の登録方法については総務委員会にて検討する。

2 日本連盟の呼称について

総務委員会および国際委員会にて検討を進めている日本連盟の呼称について、協議の結果以下のとおり承認された。
①英文表記のみの変更をすることとし、理事会の議を経、平成二三年年度次全国会議へ提案する。

②英文表記は、BOYをとること、JAPANとする。こととし、表記方法については国際委員会にて検討し、中央審議会で協議する。

③今後、各県連盟および各種会合等を通じて名称変更の必要性を説明し、理解を得る。

3 日本連盟主催大会の今後のあり方について

継続審議となっている日本連盟主催大会の今後のあり方について、引き続き意見を聞き、検討を進めていくこととの説明があった。

4 アダルトリソース方針の進め方について

アダルトリソース方針導入第一次案と、同方針導入計画の趣旨説明および意見交換会の日程、内容について、協議の結果承認された。

5 日本連盟の二〇二三年を目指す長期戦略計画について

事務局から、①アジア太平洋地域事務局より、七月末までに提出要請があった、本年一月、オーストラリア・メルボルンで開催される、アジア太平洋地域各国スカウト組織首脳会議の検討事項である「二〇二三年を目指す長期戦略計画」の日本連盟における策定案、特に、五項目の回答が求められていること、②五月理事会において教育本部に付託し、理事長の承認を得て提出することが承認されていること、③策定のため現状分析が必要であることから、各議員に対して七月四日付けにてSWOT分析項目表（重要項目と挑戦課題策定）を資料のとおりにお願いしたことの説明があった。

引き続き、同回答に基づき、「日本連盟の現状を分析し、強み・弱み・好機・脅威の各分野について」を四グループに分かれて検討に入り、第一日目を終了した。

ビーバーからカブ	84.64%
カブからボーイ	75.29%
ボーイからベンチャー	90.30%
ベンチャーからローパー	40.73%

指導者の職業分類

(平成12年3月31日現在)

学生・生徒	8,281名 (10.2%)
会社員・団体職員	26,829名 (33.1%)
会社役員・団体役員	4,553名 (5.6%)
公務員	5,143名 (6.4%)
教員	1,639名 (2.0%)
神官・僧侶・聖職者	1,457名 (1.8%)
医師・看護婦(士)	1,154名 (1.4%)
自営業	6,590名 (8.1%)
主婦	15,135名 (18.6%)
該当なし・未記入	10,412名 (12.8%)



二日目、牛山アダルトリソース委員長の進行により、各グループごとに取りまとめた重要項目と、重要項目から目的達成への挑戦課題の策定について、資料のとおりの発表を踏まえて、杉原総コミッショナーから次の発言があった。

「これら四グループでの検討結果に基づき、長期戦略タスクフォース会合を開き、整理、取りまとめ、中央審議会議長とも調整の上理事長の了承を得て回答したい。現段階では、アジア太平洋地域各国スカウト組織首脳会議への提出に向けて取りまとめしていくが、今後、日本連盟においても単年度の計画ではなく、中・長期のビジョンを中央審議会、理事会で策定していかねばならない」

協議の結果、以下のとおり承認された。

①日本連盟の「二〇二三年を目指す長期戦略計画」の策定については、中央審議会での検討結果を踏まえ、長期戦略タスクフォース会合において整理の上作成し、理事長の承認を得て提出する。

②中央審議会は、今後二三年間にわたる本連盟の加盟員数の伸び率を、毎年一%増として、計画を作成する。

③日本連盟の中・長期計画策定のため、理事会からの委員も加えた、新たな長期戦略計画立案のためのタスクフォースを設置することおよび編成については、正副議長に一任すること。

④「二〇二二年に向けてのアクションプラン」の日本連盟の取り組みについて



年次全国会議において報告・提言した「今からでも間に合う二〇二〇年に向けてのアクションプラン」について、日本連盟としての取り組み方が承認された。

7 翻訳問題検討チームの設置について
国際委員会のもとに設置すること、人選については国際委員長に一任することが承認された。

8 平成一二年度事業の推進について
年次全国会議において承認された事業計画に基づき、各委員会において取り組んでいるが、本審議会としても事業の展開を推進していきたい旨報告があり、了承された。

■財団法人日本宝くじ協会から野外活動用車両の助成を受ける

ボーイスカウト日本連盟では、毎年度、財団法人日本宝くじ協会（東京都千代田区平河町／小林実理事長）から多額の助成をいただいております。

今年度も、平成一二年度助成事業「青少年野外教育活動用車両の整備」として、貸客兼用車両・普通車一台、軽自動車二台の助成を受け、東京都三鷹市・ボーイスカウト会館と那須野営場（軽自動車一台）に配備しました。

この車両は、例年実施しているアジア太平洋地域加盟国を主対象とする海外からのボーイスカウト受入事業や、我が国スカウトの海外派遣事業をはじめ、野営場における指導者養成のための各種訓練コース等多目的な活用が期待がもたれます。

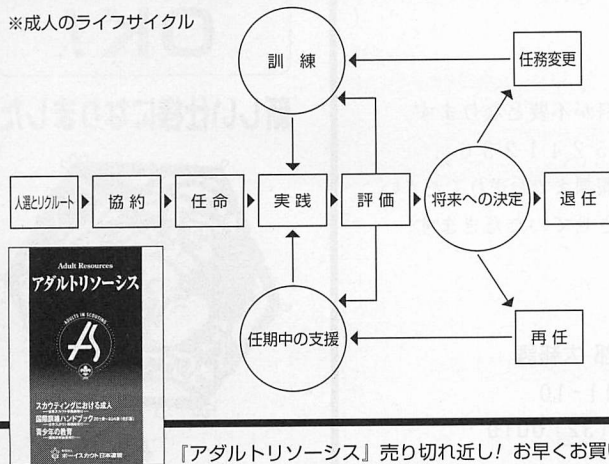
おしらせ

アダルトリソース方針導入計画（第一次案）趣旨説明および意見交換会の実施

現在、日本連盟アダルトリソース委員会では、我が連盟におけるアダルトリソース方針の導入計画の策定を行っています。この方針の理解と今後の具体的展開について、平成12年10月より全国12会場において、方針の趣旨説明と意見交換会を以下の内容で開催する予定です。1人でも多くの方が参加され、日本連盟への方針導入についてご理解をいただけますようご案内いたします。なお、開催会場等の詳細については県連盟を通じお知らせします。

- 対象者 ボーイスカウト日本連盟加盟員
- 期間 平成12年10月～12月
- 場所 各ブロック2会場（詳細は調整中）を予定
- 内容
 - アダルトリソース方針導入の必要性について
 - 成人のライフサイクルにそった、団と隊での考え方の一例について
 - ノン・フォーマル教育について
 - その他
- 参考図書 アダルトリソース（日本連盟需品部で販売中）

※成人のライフサイクル

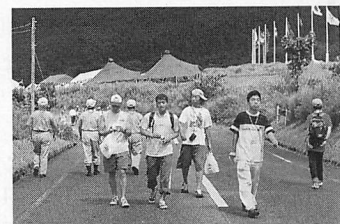


『アダルトリソース』売り切れ近し! お早くお買い求めください。



5NV報告募集

皆さんからの5NVでの活動報告や感想をお待ちしております。



□日程	
12:00	受付開始
13:00	開会 挨拶 スタッフ紹介 日程説明 他
13:15	アダルトリソース方針の導入計画（第一次案）について
15:15	質疑応答・意見交換
16:15	情報提供 「ノン・フォーマル教育について」 「日本連盟情報等」 「今後の予定等」
16:35	アンケートの記入
16:50	閉会 挨拶他

恒例のごあいさつ

ボーイスカウト日本連盟が発行する機関誌『スカウト』『スカウティング』を毎月ご愛読いただき、まことにありがとうございます。

さて、来年も『スカウティング1月号』に恒例の「新春の名刺交換」のページを設けます。今回より、規定が少し変わりました。お名前以外に、20字以内のメッセージを添えることができる他、ご自身で版下をご用意いただければ、特別な書体、ロゴマーク、手描き文字も掲載可能となりました（お申し込みのワクのサイズに入るものであれば、制限はありません）。オリジナルの版下作成については、組織部広報課でもデザイン会社をご紹介します。

◀原寸大

●規格

1口 55ミリ×27ミリ（たて形）

- ※ 既製活字原稿は、お名前のほかに、
 - ① 住所、電話番号、役職名など、または、
 - ② 20字以内のメッセージとします。
- ※ 掲載お申し込みの方には1月号を進呈します。

●掲載料

1口 5,000円（消費税250円）

- ※ 版下作成費は含まれません。
- ※ 特別な指示原稿を希望される方は、ご自身で版下をご用意ください。

●締め切り

平成12年10月末日

●既製活字原稿を希望される場合

たて書き・楷書にて、ハガキ・封書・FAXで日本連盟 組織部 広報課宛にお送りください。お申し込みは最大24口（4×6＝1ページ分）まで承ります。

●特別な指定原稿を希望される場合

ご自身で上記のワクに入るサイズの版下（囲み罫にかからないようご注意ください）を作成して、日本連盟組織部 広報課宛に封書でお送りください。ご用意いただいたものが、そのまま印刷されます。

●送金方法

お申し込みと同時に、次のいずれかの方法でお送りください。

〈郵便振替〉00110-1-82610

財団法人ボーイスカウト日本連盟需品部

※ 繰り込みの払込通知票をご利用ください。払込料が不要となります。

〈銀行振り込み〉三和銀行吉祥寺支店 普通預金 No5241236

〈現金書留〉「名刺交換」と明記の上、日本連盟 組織部 広報課までお送りください。

郵便局・銀行発行の受領証をもって、領収書にかえさせていただきます。

特に領収書が必要な方はお申し出ください。

■ 宛先・お問い合わせ先 ■

財団法人ボーイスカウト日本連盟 組織部 広報課

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

TEL 0422 (31) 5163 / FAX 0422 (32) 0010

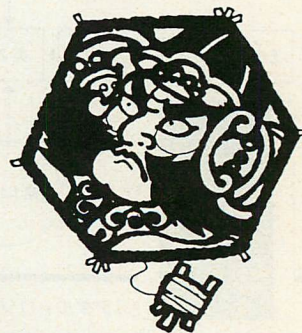
SCOUTING 2001年 1月号

『スカウティング』 新春誌上名刺交換

21世紀は自分!!

イラスト手描き
OK!

新しい仕様になりました



UNBELIEVABLE

ボーイスカウトの隊長でありながら『スカウティング』を読んでいない、その存在すら知らない、という人がいるそうです。信じられますか？

SCOUTING

大 拡 読 購 キ ャ ン ペ ー ン

大好きな隊長！
ぼくたちのために
『スカウティング』を
読んでください。



『スカウティング』は現在進行形
日本連盟の最新情報、国際舞台でのスカウトの
活躍、社会教育に関する基礎知識、プログラム展
開のためのアイデア、日本全国各団の活動状況：
etc. 『スカウティング』には、スカウティング
のすべてが詰まっています。二〇〇〇年代を迎え
た活動の現場で、今必要なもの、将来に向けて求
められるものが現在進行形で満載されています。
スカウトたちに質の高い活動を提供することが指
導者の義務であると考えらるなら、『スカウティング』
の購読は、絶対に必要な条件です。

●お問い合わせ 日本連盟組織部広報課
0422 (31) 5163

作品募集

第28回全国ボーイスカウト 写真コンテスト

■テーマ 【ボーイスカウト】

ただし、スカウトはどんなテーマでも
応募できます。

■部 門 [少年の部] 中学生以下

[青年・成人の部] 高校生以上

■締 切 平成13年2月28日(当日消印有効)

〔シャッターチャンスをはのがすな!!〕

応募のきまり

- 応募方法 写真の裏に応募用紙を貼って送ってください。
- サイズ サービス判以上四つ切り以下(パノラマサイズ可)
- 審査委員 秋山庄太郎氏(写真家)
ボーイスカウト日本連盟審査委員
- 発 表 月刊『スカウト』『スカウティング』誌上。
入選者には直接通知します。

■応募上の注意

- ・応募作品は平成12年1月以降に撮影した、コンテスト・印刷物などに未発表のもの。
- ・応募作品はお返しいたしません。
- ・入賞作品は、ネガ(ポジ)フィルムの提出をお願いします。
- ・応募作品は、入賞発表の他に『スカウト』『スカウティング』、カレンダー等に掲載することがあります。
- ・応募作品の使用権は主催者に属します。

■送り先・お問い合わせ

〒181-0015 東京都三鷹市大沢4-11-10

(財)ボーイスカウト日本連盟「写真コンテスト」係

☎0422-31-5163

★入賞作品は、『スカウト』『スカウティング』で紹介され、表紙に採用されるかもしれません！

第28回全国ボーイスカウト写真コンテスト応募用紙

タイトル		部門	
		少年・青年成人	
氏名(ふりがな)	年齢	性別	職業(学年)
		歳 男・女	
住所 〒	都・道 府・県	市・区 町・村	電話番号 ☎
この作品について一言			
ボーイスカウトの方は加盟員ナンバー		所属	役務
		第 団 隊	

応募用紙

点線で切り取って写真の裏に貼ってお出ください



誌面の型を決め込む



カチツときれいにまとめると、気持ちよくて読みやすいものです。このままマネしてください。

広報誌を発行すると、まずサイズ、仕様、スタイル：いずれも同じような意味ですが、これを決めなくてはなりません。いつもだと、「いろいろな仕様が考えられます」という案内をしようとしてしまうのですが、今回は強引にいかせてもらいます。

カタチから入ろう

サイズはA3横位置。結構デカイ普通のコピーの一番大きい紙のサイズです。発行部数は印刷会社にお問い合わせする量にはならないはずなので、コンビニエンスストア等でコピーして配布するという事に決めましょう。不都合がある場合は、別の方法を考えてください。

印刷は片面。早い話が、普通にコピーするだけです。画面を真ん中で左右二つに分かれるように構成します。こうして山折りにするとA4サイズ(大きめのノートくらい)の裏表といった感じになりますし、ファイルにとじるのにもピッタリです。言

葉を並べるだけではわかりづらいうから、下の見本をご覧ください。これは、ボーイスカウトの団の広報誌ではありませんが、少年たちの活動をサポートする広報誌ということで、参考になると思います。

横書きの文字は、ワープロ。二列に組んでいます。文字の大きさ、書体、一行の文字数、行間はすべて一定にしてあります。これが読みやすい。一つの画面で大小様々な文字が混じっていたり、一行の文字数が違っていたり、行間にバラつきがあるというのは、とても見づらく、素人臭くなってしまう。

意地でも貫こう

ここを間違える人が多いのです。基準となるレイアウトのフォーマット、文字の組み方のルールは守らなくてはなりません。その上でデザインを工夫すれば、実に読みやすくなります。よくとまりません。とにかく一番はじめにやることは、型を作り上げる

チャレンジ通信

Challenge

発行/FCチャレンジ 1999



チャレンジの合宿を終えて

3木陸一郎ヘッドコーチ

5年生1人の合宿でどうなるだろう、なんていう不安を抱えながら、やはり1人で合宿になりました。これも、子どもたちの成長と、結果は後述はあきらめず、チャレンジの合宿のおかげであります。

確かに大変なこともありますが、それ以上の感動や達成感もあるからこゝろ、やりがいを感じることが多い。子どもたちは、各々何かに感動してきたことだと思います。私は、ただただ2泊3日でサッカーがうまくなるなんて思いませんし、そんな魔法はかけられません。子どもの成長が実感されてきたと信じています。

特に、合宿に行くといういいことである「あり」と「な」が必須になります。いろいろな人にも、いろいろなことであり



ごころうさまでした... 引率のお母さん方の感想

お父様ももともと、2泊3日は合宿のゲームと料理の経験があり、実地した上で、思い思いに合宿ができたと思います。今後の練習にも力が入っていったらいいですね。

最終日の各組対試合です。上の学年ががんばり、負け合っているのほのほの合宿。私たちの子どもも頑張ることができたのがうれしくていいです。2泊3日の間にみんな一歩大きくなったように見え、それだけ様々な発見をした合宿であったのではないかと思います。

親子サッカー 日程変更

11月27日(土) 中富小学校

年に一度の親子の対決。子どもと一緒にボールを蹴りながら、成長ぶりを感じられる絶好のチャンスです。たっぷり汗を流してください。断り難いので「親子サッカー」の日程は変更でお知らせの予定。

ジャージ申し込み受付中

チャレンジのジャージの申し込み受け付けています。希望の方は10月18日(月)までにユニフォーム・安藤までご連絡ください。サイズのご相談もお気軽ください。

9月お当番

1-2年生 PM4:00	3-4年生 PM4:30	5-6年生 PM4:30
9月3日(金) 西田 井出 川口	6日(月) 前田 池田 石井	10日(金) 照 菊地 市川
13日(月) 竹内 小島 宮城	17日(金) 松下 斉藤 石田	

9月お当番 (運動会シフト)

1-2年生 PM4:00	3-4年生 PM4:30	5-6年生 PM4:30
9月20日(月) 玉城 中倉 龍山	24日(金) 井原 古野 川上	27日(月) 大河原 安藤 越前

10月お当番

1-2年生 PM4:00	3-4年生 PM4:30	5-6年生 PM4:30
10月1日(金) 光田 島海 小林	4日(月) 鈴木 吉田 齊藤	8日(金) 三浦 藤林 吉田
15日(月) 一瀬 宮内 川口	18日(月) 小杉 安藤 高野	22日(金) 小田川 三吉 市川
25日(月) 北野 上田 宮城	29日(金) 松下 江口 田中	

INFORMATION

父母会及び合宿情報会

9月17日(金) PM7:00/中富コミュニティセンター

◎2学期の活動の方針について
◎合宿での子どもたちのお土産
1年生の保護者の方もお持ち出席ください。

議題
2年 柳瀬 健太くん

スカウト通信

月号

発行／

BOY SCOUT NEWS

号

団

隊

月

日発行

ことです。このことを頭に入れないで、デタラメな構成をしておいて、「動きのある楽しい誌面を目指しました」なんてコメントをしても、三回目くらいで息切れがするはずですよ。

「型にはめてしまうと毎回同じように見えてつまらないんじゃないか」などとアドバイスする人が出てくるかもしれませんが、無視してください。

絶対に守り抜け

右下の広報誌(団員向けの通信は、左面上に大きなタイトル。デザイン的にもちょっとだけ工夫しています。そして最近の活動の報告、写真を一枚(実はサービスパrintのサイズ)、太い文字の見出し(ワープロ文字)、そして本文でまとめています。

写真はコピー機の写真モードで複写すれば、そこそこきれいに見えてしまいます。

右面の左の列にはその他の小さな活動報告やお知らせ、右の列の上はお当番表といった具合に、毎度おなじみの型を確立していました。

これを受け取った各家庭では、半

分に折って冷蔵庫の扉にマグネットでとめたり、はじにパンチ穴を開けてファイルにはさんで保存したりしました。月刊なので、一年分をとじこんだものが、ちょっとした活動の記録、思い出アルバムのようになつたようです。あと、年に一回ほど、あまり活動のない月は、勝手に合併号にして逃げるという裏技も使ったということですよ。

これから団の広報に取り組んでいこうと決めたなら、この頁を参考に、力づくでも型を固定してください。他人まかせにすると必ず型は崩れます。そして敗北への道をたどります。『スカウティング』に書いてあったことを理由にして、あなた一人の考えでフォーマットを決め込んでください。誰からも邪魔されずにそれができたら、広報誌として八割は成功です。残りは取材と記事の作成の労力が一割ずつです。

今回は急いで取材と記事作りの話をやります。なぜか？ そうしなないといつまでたっても広報誌ができないからです。

(つづく)



手書きでもOK!

見本はたまたまワープロで文字を組んでいます(それかかなり上級レベル)。しかし、5ミリ方眼紙(コピー用箋)等に丁寧に書くなら、手書き文字でもまったく問題はありません。下手なワープロ打ちより、丁寧な手書き文字の方が、百倍ステキです。

A3横・真ん中で折るように

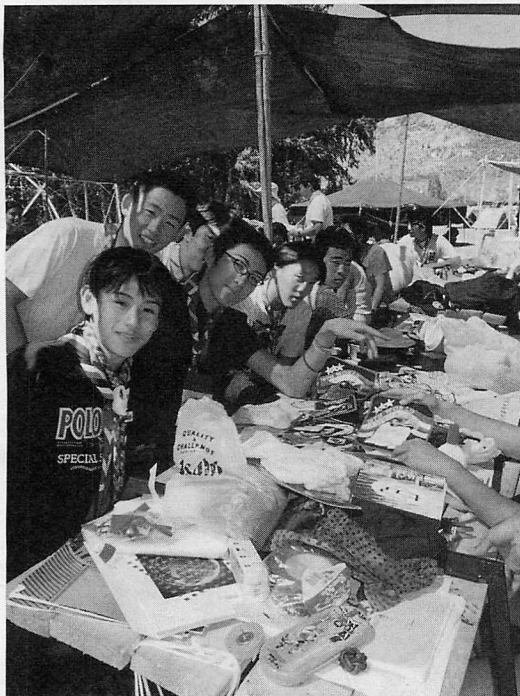
両サイドはパンチ穴の分あける

文字はワープロ横組みに

写真・イラスト・タイトル文字切り貼り

毎号コンビニでコピー

SWAPPING



外国のスカウトとバッジやチーフリングを交換しました。「チェンジ」「プリーズ」「サンキュー」…身振り手振りを交えて、楽しくコミュニケーション。(19WJ チリより)



早稲田大学 奥島総長 語る

小金井市スカウト協議会主催 平成二二年度講演会

6月29日(木)、早稲田大学 奥島孝康総長を講師にお迎えし、「週休2日制と自然体験学習の今後」と題しての講演会が開催されました。この講演会は、同協議会が毎年開催しているもので今回で7回目にあたります。当日は、ボーイスカウト・ガールスカウト関係者をはじめ、市の広報誌等で開催を知った市民等約100名が熱心に講演を聴講していました。2002年から実施される完全学校週5日制、ボーイスカウト日本連盟でもその取り組み方が今重要な課題となっています。奥島総長は、1時間半の講演の中で、ご自身のボーイスカウト時代の体験や、海外での事例を挙げ、自然の中での体験がいかに子どもたちの心の発達に重要かを力説されていました。

ご支援ありがとうございます

スカウト運動は、1907年に英国のベーデン-パウエルを創始者に始まり、現在、149か国2,800万人が参加しています。1922(大正11)年に日本連盟が結成され、青少年の育成活動を続けてきました。

財政基盤は、加盟員の登録料、スカウト用品の売り上げからの繰入金、各種寄付金、補助金が収入の柱となっています。皆様からのご厚志は、
 ●各種大会の開催 ●国際社会に貢献できる人材育成 ●国際交流事業の展開 ●野外教育活動のための野営場、研修宿泊施設の増設・拡張 ●ボランティア指導者の育成等、運動の発展に役立てられます。

維持会員の種別と会費

維持会員は、個人と法人に大別されます。お申し込みいただきますと、ボーイスカウト運動にご賛同の証として入会時に、会員章をお贈りいたします。また法人および特別維持会員の方には、入会后、スカウティング誌を1年間お送りいたします。

(すでにご購入いただいている場合等、ご不要の方はお手数ですが広報課までその旨ご連絡ください)

会員の種別		会費
個人	通常維持会員	年額1万円以上
個人	特別維持会員	年額10万円以上
法人	法人維持会員	年額10万円以上

ボーイスカウト日本連盟は文部大臣より「特定公益増進法人」の認可を得ています。

*維持会員 (平成12年6月に会費を納入された方々・敬称略)

【宮城】	【新潟】	林 永治郎	高嶋 壮司	【日本連盟】
安達 清守	与田 一憲	【京都】	【広島】	渡邊 昭
【茨城】	大泉 昭一	柳澤 博	土手 讓	關三洋堂
小林 成敏	【長野】	奥村 光伸	船越 聖示	嶺東方の光
【群馬】	酒井 博	【大阪】	【愛媛】	
津久井 滋	【岐阜】	佐藤 俊夫	井上 尚	
【千葉】	高田 英明	【鳥取】	【鹿児島】	
菊地 康介	【愛知】	中尾 徳明	【鹿野】	【モナミ】



「魚をさばけ!!」 「スカウティング」編集部 撮影

スカウト写真館

BS歴史探訪

—20世紀のあしあと—

第一回隊長訓練コース開催 ギルウェルパークオープン

スコットランド人のW. F. デュボア・マクラレンは、1918年の暮、ロンドン東地区のスカウトが簡単に行けるキャンプ場を連盟に寄付しようと、B-Pに申し出ました。B-Pは、もしその土地が隊長の訓練センターとして使えればもっと大きな価値を持つことになるだろうと考え、早速本部スタッフと数名のコミッショナーに土地探しをさせたところ、ロンドンの北のチングフォード駅からあまり遠くなく、エッピングの森に接している理想的な場所を探し当てました。そこには、1790年に建てられた今にも崩れ落ちそうな大邸宅があり、広さは54エーカーの森が手入れをされていないままでしたが、立地条件としては、完璧な土地でした。1919年1月31日、マクラレンは、土地の購入に同意をしました。修復箇所は相当あったものの、春から初夏にかけて、多くのスカウト隊がキャンプをして、整地や手入れをし、7月26日にはB-Pによるテープカットが行われ、ギルウェルパークは、正式に連盟の所有になりました。



ギルウェル・パークでの第1回ウッドバッジコース。1919年9月。B-Pの右フランシス・ジドニイ、ジドニイの後、A G ウェイド少佐

HISTORY OF BOY SCOUT

1951 (昭和26) 年

- 2月17日～18日 = 臨時全国総会、京都で開催。組織内を寄付行為と意図に分ける。三島通陽を第4代総長、小山直彦を理事長に選出。
- 6月28日～30日 = 第1回名譽スカウト特別訓練、山中野営場で実施。
- 7月 = 日本連盟総局（事務局を改称）を千代田生命ビル・水交社ビルから港区芝西久保巴町に独立建物を購入し、移転。
- 7月31日～8月2日 = 第13回国際ボーイスカウト会議、オーストリアで開催。三島通陽以下1名派遣。
- 8月3日～13日 = 第7回世界ジャンボリー、オーストリアで開催。三島通陽団長以下1名派遣。
- 8月4日～8日 = 第3回全国大会、山形県蔵王で開催。

1952 (昭和27) 年

- 2月末日 = 日本のスカウト数34,000人を超す。
- 5月1日 = 年長スカウト・カブスカウト訓練実施要綱制定。
- 6月1日 = カブブック発刊。
- 6月14日～15日 = 規定に基づく最初の年次総会が神奈川県で開催。
- 7月15日～24日 = 第1回世界インダバ（指導者集会）、ギルウェルで開催。日本から指導者1名が参加。
- 8月20日～25日 = 第2回名譽スカウト特別訓練、山中野営場で実施。
- 12月5日 = 国際事務局ウィルソン事務局長来日、まじら贈呈。
- 12月10日～11日 = 第1回リ・ユニオン、訪日中の国際事務局ウィルソン事務局長を迎え、山中野営場で開催。

1953 (昭和28) 年

- 3月20日 = スカウター誌発刊。
- 6月20日～21日 = 年次総会、東京で開催。
- 8月17日～23日 = 第3回名譽スカウト特別訓練、東京・田中川で実施。

初代のキャンプチーフには、B-Pの信任が厚く経験豊富なフランシス・ジドニイが、B-Pによって任命されました。B-Pは、1913年に構想した隊長訓練コースを細部にわたり練り上げていました。それは、3部構成で、①スカウティングの基礎理論の理解、②1週間のキャンプの実践、③隊運営のための管理能力、からなっていました。第1回の隊長訓練コースは、9月8日にギルウェルで開催され、12年前、ブラウンシー島で少年たちと行ったキャンプと同様に、パトロールシステムが採用されました。19名の参加者は班に分かれ、班単位で生活し、実技、実地訓練、ゲームがくり返されました。ここでも、クーズーホーンが合図に使われ、訓練の修了者にB-Pは、ズルー族の木のビーズを1個ずつ渡しました。今は、ウッドバッジとして知られています。ギルウェル・スカーフのタータンチェックは土地を寄贈したマクラレン家の柄です。

(スカウト史研究会 小暮幹雄)

『スカウティング』全隊長購読キャンペーン実施中!!

●5NVでは、記録ビデオの撮影隊と一緒に会場をまわりました。主会場は天気が悪かったのが残念でしたが、無事に終了してほっとしています。実を言いますと、女子の参加者にもっと会えるかと期待していたのですが、結構少なかったように思います。気のせいか。(智)

●5NVの取材中に、沢水キャンプ場で、買ったばかりの携帯電話を落としてしまい、いまだに見つかっておりません。今現在も大変不自由しております。お心当たりの方は、日本連盟までご一報ください。ビデオカメラは壊してしまい、個人としては踏んだり蹴ったりの5NVでしたが、2,400枚にものぼる写真はどれも最高の出来でした。記念アルバム(¥1,800)がとても楽しみです。(雅)

●この夏は、たくさんの経験をさせてもらいました。7月29日、主会場に秋篠宮殿下と紀子様がいっしょにいらっしゃいました。私は、ボーイスカウトの広報としてプレスカードをいただき、撮影をする係りでしたが、指示を守らず、報道位置からは離れたところでシャッターを押しました。広報班の方からも大目玉をもらいました。本来取材陣の模範となるべき立場にありながら、大変恥ずかしい行動をとったと猛省しております。(川)

●8月2日から久住入りしました。ぼくの実家は大きなので、5NV会場のあたりはよくドライブした場所です。(の)



すべての情報・おたよりはこちらの宛先へ

〒181-0015
東京都三鷹市大沢4-11-10
(財)ボーイスカウト日本連盟
組織部広報課
FAX 0422-32-0010
E-mail bsn-pr@scout.or.jp



INFORMATION

平成12年秋の全国交通安全運動実施

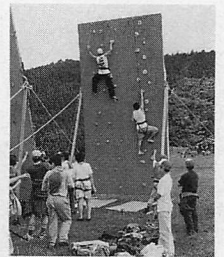
- 目的 国民一人ひとりに交通安全知識を普及し、交通安全思想の高揚を図り、交通ルールの遵守と正しい交通マナーの実践を習慣付けることにより、交通事故防止の徹底を図る。
- 期間 9月21日(木)～30日(土)
- 主催 総務庁、警察庁、法務省、文部省、厚生省、農林水産省、通商産業省、運輸省、郵政省、労働省、建設省、自治省、都道府県、市区町村、日本道路公団、首都高速道路公団、阪神高速道路公団、本州四国連絡橋公団、自動車事故対策センター、自動車安全運転センター、(財)全日本交通安全協会、(財)日本道路交通情報センター、(社)全国交通安全母の会連合会、(社)全日本指定自動車教習所協会連合会、(社)全国二輪車安全普及協会、(社)日本自動車連盟、(社)日本バス協会、(社)全日本トラック協会、(社)全国乗用自動車連合会、(社)全国ダンブカー協会、軽自動車検査協会
- 協賛 (財)ボーイスカウト日本連盟 他143団体
- 重点目標 (1) 高齢者の交通事故防止
(2) チャイルドシートとシートベルトの着用の徹底

平成12年度第24回全日本ユースラリー

- テーマ お接待の心が 育む 愛媛 ユースフェスタ
- 趣旨 関係諸団体とともに、野外活動、レクリエーション、交歓行事等を通じて友情を深めることによって、今後のユースホステル運動の一層の前進を図る。
- 期日 9月29日(金)～10月1日(日) 2泊3日
- 開催地 愛媛県松山市およびその周辺
- 開会式会場 松山市総合コミュニティセンター・カメラホール
- 宿泊 松山市野外活動センター
- 参加人数 1,000人
- 参加費 20,000円 参加費および宿泊費2泊4食(1泊2食の場合は13,000円) 歓迎レセプション費含、別途ホスティング・ツアー費用必要
- 参加者 ユースホステル会員およびユースホステル関係者、学校、社会教育関係者、野外活動関係団体および青少年団体関係者、児童、生徒、学生、その他ユースホステル活動に関心のある方
- 記念講演 衣笠祥雄氏(国民栄誉賞受賞・プロ野球解説者)
- 主催 (財)日本ユースホステル協会、愛媛県、愛媛県教育委員会、四国ブロックユースホステル連絡協議会、愛媛県ユースホステル協会
- 主管 平成12年度第24回全日本ユースラリー愛媛県実行委員会
- 後援(予定) (財)ボーイスカウト日本連盟 他54団体
- 問い合わせ ボーイスカウト日本連盟 総務部総務課 0422-31-5161

感想募集! インターネットで5NV

久住高原には行かなかったけど、インターネットで電子参加して5NVを楽しんだ皆さんの感想を募集します。インターネットでの情報収集の極意の他、自宅にいながらにしてどんな風にも大会に参加した気分になれるのか、あるいは「こんな情報が流れれば便利」といったご意見もお待ちしております。



野山のぼとて

第2次大戦中「満州」に渡り、戦後様々な理由で中国に残る運命を背負われた、いわゆる「中国残留孤児」がいる。TV画面に映る「孤児」の年齢は大体私と同年代か上である。実は私も「満州」からの引揚者だ。生後約2週間で引き揚げを始め、甚は襲撃を避けて山に隠れ夜に移動する逃避行が続いた。生きて明日を迎えられるかまったく希望の持てない状況の中、せめて子どもだけとは、中国の人に我が子を預けた親がいた。手榴弾で自決した家族がいた。多くの命が失われた。それでも私の家族は何とか引揚船に乗り内地に着いた。生後3か月の私は生き延び、3歳の兄は栄養失調のため検疫所で死んだ。死ぬ前には鼻や口、肛門から体内の寄生虫が這い出てきて、それは悲惨な死だった。…小さい頃から何度も母から聞かされた話である。つい最近も北朝鮮へ渡った日本人妻の里帰りか何年ぶりかで再会されるというニュースを耳にした。半世紀を経てなお、戦後は未だ終わっていない。(需品部部长 福場 賢)

●(財)団法人ボーイスカウト日本連盟 本誌掲載の写真イラスト、記事のコピー、複製・転載を希望される場合は、日本連盟組織部広報課までご連絡ください。
●「スカウト」「スカウティング」は、全国各団に1冊お送りしています。住所の誤り、変更がある場合は日本連盟、組織部までご一報ください。回配布分の購読料は登録料に含まれています。
●本誌のバックナンバーを希望されるときは、日本連盟組織部広報課までご連絡ください。
※環境保護のため、「スカウト」「スカウティング」(本文)は再生紙を使用しています。

SCOUT 2000年・9月号
スカウト No.480
ふりそぞぐサンシャイン号

ス・グ・レ・モ・ノ!!

需品部
NEWS

■座ブトン(シーターポン)



-93571
¥1,700

空気栓を開けると自動的に膨らみます。
集会に、カヌーにと使い方イロイロ。
40×30×2cm/色：ネイビー



■コンパクトマット

-93572
¥6,000

空気栓を開けると自動的に膨らみます。
183×63×3.1cm/色：グリーン

■バンダナ ノッツ 52×52cm/綿100%

イエロー

グリーン

オレンジ



-77447
¥500

-77448
¥500

-77449
¥500

予約期間：10月中旬まで

ボーイスカウトカレンダー

予約受付中
2001
21世紀に名前を刻め!

第43回ジャンボリー・オン・ジ・エア

10月21日-22日

- スカウト無線チーフリングA(樹脂) -75999 ¥600
- スカウト無線チーフリングB(革) -75995 ¥460
- スカウト無線ピンバッジ -76010 ¥300
- スカウト無線カーバッジ -76015 ¥1,800
- スカウト無線ワッペン -72441 ¥300
- 第41回JOTAレポート(世界スカウト事務局) -69823 ¥1,500
- JOTAストーリー -69817 ¥2,300

団員募集やお世話になった方々へのお礼の品として、とても便利です。ご活用ください。

サイズ B4版 -68401
年間行事シール付
(1部) **¥600**

ご利用にあたってのお願い

- ・ご注文はBSカード専用の注文書がありますので、ご連絡いただければ送付いたします。
- ・お支払いにつきましては、ボーイスカウトカードのみの取り扱いとさせていただきます。
- ・ファクシミリ【0422-32-0010】で、ご注文をお受けいたします。
- ・カードは計画的にご利用ください。



※当カードは、オリコ・UC・VISA取扱店や、海外のVISA取扱店でもご利用になれます。

名入れできます

【メリット期間：9月30日まで】

メリット期間中、50部以上まとめてご注文いただくと、名入れ印刷をサービスいたします。なお、50部以上のご注文は、10部単位でお願いします。

- ★需品の表示価格には消費税は含まれておりません。外税として別途申し受けます。
- ★需品の情報はインターネットでもご覧になれます。

[<http://www.scout.or.jp/juhin/index.html>]

ボーイスカウトオフィシャルシューズ



Sale!



大幅値下げ!!

発売2周年
特別キャンペーン
7/1~9/30

- ゴア・テックス仕様 ¥12,800 → **¥9,800**
- ビーバー・カブ用 ¥4,900 → **¥3,900**
- スカウト・指導者用 ¥5,800 → **¥4,800**



サイズ別品番表

	18.0cm	19.0cm	20.0cm	21.0cm	22.0cm	22.5cm	23.0cm	23.5cm	
ビーバー・カブ用	35070	35071	35072	35073	35074	35075	35076	35077	
	24.0cm	24.5cm	25.0cm	25.5cm	26.0cm	26.5cm	27.0cm	27.5cm	28.0cm
ビーバー・カブ用	35078	35079	-	-	-	-	-	-	-
スカウト・指導者用	35090	35091	35092	35093	35094	35095	35096	35097	35098
ゴア・テックス仕様	-	36001	36002	36003	36004	36005	36006	36007	36008

女子用につきましては、在庫稀少のため対象外といたします。
ご注文はお近くのボーイスカウト用品部へお願いします。
ボーイスカウトカードをお持ちの方は、ボーイスカウト日本連盟用品部へのFAXでもお取り扱いいたします。
表示価格は消費税抜きの価格です。ご購入の場合は別途消費税を申し受けます。

スカウティング
568

発行 財団法人ボーイスカウト日本連盟
編集責任者 事務局長 高井美行
〒181-0015 東京都三鷹市大塚4-11-10
電話 0422(31)5161(代)

定価¥190(送料¥68)
郵便振替 00110-1-82610
口座名義 (財)ボーイスカウト日本連盟用品部

